

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画		
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める			
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する			
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	広聴事業関係費				
事業コード		001-002-001-00005	事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容		より良いまちづくりをめざし、市民からの意見・提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受付、陳情・要望の受付、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会、市民意識調査等の広聴事業を実施する。						
取 組 実 績		1 市政提案・・・31件 2 苦情等・・・57件 3 陳情・要望・・・31件 復興政策部4件、総務部4件、復興事業部4件、福祉部2件、産業部8件、建設部3件、教育委員会3件、河北総合支所2件、河南総合支所1件 4 パブリックコメント・・・7件の計画等に対する意見募集 (1) 石巻市個人情報保護条例の改正(案) (2) 石巻市男女共同参画基本計画(第3次)(案) (3) 第2次石巻市健康増進計画(案) (4) 石巻市教育振興基本計画(案) (5) 石巻市第3次障害者計画(案) (6) 石巻市地域福祉計画(第3期)(案) (7) 石巻市新公立病院改革プラン(案) 5 市政教室・・・12回実施、募集人数222人、参加人数178人(参加割合80.1%) 見学先：石巻魚市場、津波避難タワー、防集団地、復興まちづくり情報交流館等 6 まちづくり懇談会・・・6回実施、165名出席 7 市民意識調査・・・調査期間 平成28年9月15日～10月7日 調査配布数 2,700人 回収数 1,029件(回収率 38.1%) 調査項目 (1)東日本大震災に伴う復旧・復興事業について (2)男女共同参画について (3)子育て支援について (4)地域包括ケアについて (5)観光に関する意識について (6)広報事業について						
成 果		市民からの市政提案・苦情等については、市の考え方や今後の対応について直接市民へ回答し、市民の理解を得るよう努めた。 陳情・要望等については、市長が直接考え方を伝えることにより、市民が市政をより身近なものに感じ、市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントでは、市の計画等に対する意見を募集した結果、計45項目の貴重な意見・提言をいただき、計画等の策定過程において参考とした。 市政教室では、市長が復興状況や市の新たな施設等を見学することにより、市政への理解及び関心を高めることができた。また、まちづくり懇談会においても、各地区の住民が市長や関係部署と意見交換を行い、市政への理解を深めることができた。 隔年で実施している市民意識調査では、6項目の調査項目を設定し回答を分析したことで、今後の市政運営の基礎資料とすることができた。						
成果に係る評価		広聴事業は、広く市民のニーズを把握しながらまちづくりを進めていく上で効果的であり、市民の声を市政へ届けるために必要な事業である。 特に、「まちづくり懇談会」の開催については、市長が各地区に出向き、市民から直接意見や要望を聴くことができるため、本事業の周知に努めるとともに継続して実施していく必要がある。 市民意識調査は、市民の関心・意向・要望等を知るために必要な調査である。次回の実施にあたっては、質問項目の精査等により回収率の向上に努め、また、クロス集計などにより、調査結果をさらに有効に活用していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	526,000		430,898					430,898

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 節		()																	
	1 目	一般管理費		()		()																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																			
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																			
目的及び事業内容		<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																					
取組実績		<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、111名・1団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、89名・1団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：平成28年11月6日(日) 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：51名・1団体 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																					
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>年度別取組実績</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>124名</td> <td>115名</td> <td>112名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>88名 (71.0%)</td> <td>93名 (80.9%)</td> <td>90名 (80.4%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>55名 (62.5%)</td> <td>53名 (57.0%)</td> <td>52名 (57.8%)</td> </tr> </table>						年度別取組実績	H26	H27	H28	市政功労者推薦者数	124名	115名	112名	市政功労者決定者数	88名 (71.0%)	93名 (80.9%)	90名 (80.4%)	表彰式出席者数	55名 (62.5%)	53名 (57.0%)	52名 (57.8%)
年度別取組実績	H26	H27	H28																				
市政功労者推薦者数	124名	115名	112名																				
市政功労者決定者数	88名 (71.0%)	93名 (80.9%)	90名 (80.4%)																				
表彰式出席者数	55名 (62.5%)	53名 (57.0%)	52名 (57.8%)																				
成果に係る評価		<p>市報やホームページによる市民への周知により、候補者の把握を広く行えた。また、その功績を讃えることにより、市政の振興と市民の市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。</p>																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	628,820	313,352				313,352																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																																																																			
	1 項	総務管理費		第 節		()																																																																			
	1 目	一般管理費		()		()																																																																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報公開推進費																																																																					
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																					
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p>																																																																							
取組実績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">開示請求件数</td> <td colspan="7">請求に対する決定等</td> </tr> <tr> <td>開示</td> <td>一部開示</td> <td>開示拒否</td> <td>不存在</td> <td>その他</td> <td>取下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報公開</td> <td>192件</td> <td>129件</td> <td>47件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>6件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>40件</td> <td>22件</td> <td>5件</td> <td>1件</td> <td>6件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>2 不服申立ての状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">不服申 立件数</td> <td rowspan="2">取下</td> <td rowspan="2">諮問</td> <td rowspan="2">答申</td> <td colspan="4">不服申立てに対する決定</td> <td rowspan="2">次年度 繰越し</td> </tr> <tr> <td>認容</td> <td>一部認容</td> <td>棄却</td> <td>却下</td> </tr> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 平成28年度においては、不服申立て等の諮問案件に係る会議の開催はなかったが、農業委員会及び市立病院等において、オンライン結合による個人情報の取扱いに関する諮問等のため、また、個人情報保護条例の一部改正について意見を聴くため審査会を5回開催した。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">利用件数</td> <td colspan="3">利用件数の内訳</td> </tr> <tr> <td>行政資料等の閲覧</td> <td colspan="2">（うち行政資料等の複写）</td> <td>その他相談等</td> </tr> <tr> <td>407件</td> <td>282件</td> <td colspan="2">(142件)</td> <td>125件</td> </tr> </table>						開示請求件数	請求に対する決定等							開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下		情報公開	192件	129件	47件	0件	0件	6件	10件	個人情報	40件	22件	5件	1件	6件	6件	0件	不服申 立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定				次年度 繰越し	認容	一部認容	棄却	却下	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧	（うち行政資料等の複写）		その他相談等	407件	282件	(142件)		125件								
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																								
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																																																																			
情報公開	192件	129件	47件	0件	0件	6件	10件																																																																		
個人情報	40件	22件	5件	1件	6件	6件	0件																																																																		
不服申 立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定				次年度 繰越し																																																																	
				認容	一部認容	棄却	却下																																																																		
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																																	
利用件数	利用件数の内訳																																																																								
	行政資料等の閲覧	（うち行政資料等の複写）		その他相談等																																																																					
407件	282件	(142件)		125件																																																																					
成 果		<p>1 情報公開 公文書の開示請求については、迅速かつ適切な開示を行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は、前年度（169件）と比較すると23件増加（約14%増）の192件である。その主な増加要因は、工事関係書類（工事実施設計書等）の請求が増加したためである。 また、情報公開コーナーの利用についても、行政資料等の複写や閲覧など、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、本人に対し個人情報の開示を行ったことで、自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護することができた。 また、個人情報保護条例を一部改正し、個人情報の取扱いに関し、オンライン結合の制限の見直しを行うとともに、条例に定める各義務の違反者に対する罰則規定を新設した。それ以外の条項についても全体的な見直しを行い、より適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。</p>																																																																							
成果に係る評価		<p>公文書の開示請求については、請求された内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、今後も適正かつ迅速な情報公開事務に継続して努めることが重要である。また、情報の一層の公開を図るため、市民に必要な情報を積極的に提供する情報提供施策の充実を図り、情報公開を総合的に推進していく必要がある。</p> <p>個人情報保護については、個人情報保護条例の一部改正により、個人の人格と尊厳を最大限に維持しつつ、今後の高度情報化社会における個人情報の利用による公益上の必要性の確保を図るとともに、職員等の個人情報の厳正な取扱いについて、より一層徹底されることが期待される。今後も引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な取扱いの確保に努めることが重要である。</p>																																																																							
(単位：円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
	2,714,000	2,382,817			365,300	2,017,517																																																																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 13	中 事 業		広報活動費			
事業コード		001-002-001-00004	事 業 名		「市報いしのまき」発行事業			
目的及び事業内容		行政情報を広く市民に周知する手段として市報を作成し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。						
取組実績		<p>毎月1日号を発行し、市の施策や行政情報、各種お知らせ、催事、文化スポーツ行事、募集、子育て支援情報、健診のお知らせなどを掲載し、市民へ情報提供を行い、15日号と併せて多くの復興関係の情報を掲載、発信した。</p> <p>また、適度に余白を作り写真やイラストを挿入するとともに、図・表を用いたより分かりやすく読みやすい紙面づくりに努めた。</p> <p>平成28年9月1日号から、ホームページに繋がるQRコードを市報に掲載した。</p> <p>[市報発行] 毎月1日発行、発行部数月65,000部、12ページ（うちフルカラー8ページ、白黒4ページ）</p> <p>主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興に関するお知らせ ・市の財政状況 ・市職員の人事行政運営等のあらまし ・各種行政情報 ・平成29年度施政方針 ・まちの話題 ・休日急患担当医 ・子育て支援情報 ・各種健診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集 						
成 果		<p>分かりやすく読みやすい紙面づくりに努め、市の主要な施策や取組、各種行政情報などについて、市民への適時の情報提供が図られた。</p> <p>また、QRコードを市報に掲載したことで、市報に掲載しきれない詳細な内容を、ホームページから閲覧できるようになった。</p>						
成果に係る評価		<p>市報の内容にカラーページを取り入れて以後、市民から見やすいという評価を受けており、今後も、市民が求めている情報や興味を引く内容の把握及び掲載に努めていく。</p> <p>また、より分かりやすく読みやすい簡潔な記事とし、文字サイズが小さくなりすぎないよう、原稿のさらなる精査に努めるとともに、市報を身近なものとして捉えていただけるような工夫に努めていく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	21,000,000		20,998,440				20,998,440	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画																				
	1 項	総務管理費		第 節																						
	6 目	企画費		()																						
実施計画掲載ページ			中 事 業		がんばる石巻応援寄附関係費																					
事業コード			事 業 名		がんばる石巻応援寄附関係事業																					
目的及び事業内容		<p>「ふるさと」に貢献したい。「ふるさと」を応援したい。という納税者から寄せられる寄附金を活用し、さまざまな分野でのまちづくりを推進することを目的とする。</p> <p>ふるさと納税寄附者に対しては、寄附金額に応じた返礼品を送付し、本市の特産品の提供を行う。</p>																								
取組実績		<ol style="list-style-type: none"> 1 ポータルサイトへの掲載、インターネットでの申請を実施し、申込者の増加を図った。 ・インターネットでの申込み・・・約93% 2 納付方法の割合 ・クレジット・・・78.9% ・郵便局振込・・・19.0% 3 PR方法について ・市ホームページにふるさと納税PR動画を掲載 ・各種イベントにてチラシ配布（仙台市、埼玉県大宮市、東京都中野区、東京都足立区、千葉県柏市） 4 特産品選定評価委員会開催による特産品選定 ・寄附者の方が「受け取って嬉しい」特産品を公平・公正な視点から選定するため設置 ・開催回数・・・3回（6月、9月、2月） 																								
成 果		<ol style="list-style-type: none"> 1 寄附金実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>167件</td> <td>227件</td> <td>17,642件</td> <td>25,078件</td> <td>11,830件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>14,186,369円</td> <td>25,520,807円</td> <td>316,818,248円</td> <td>355,750,382円</td> <td>186,352,202円</td> </tr> </tbody> </table> 2 集客性の高いイベントでのチラシ配布等でPRを行い、寄附金の増収を図った。 3 特産品の充実を図るため、平成27年度末の104品目から特産品を15品目増やし、119品目とした。 							区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	寄附件数	167件	227件	17,642件	25,078件	11,830件	寄附金額	14,186,369円	25,520,807円	316,818,248円	355,750,382円	186,352,202円
区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																					
寄附件数	167件	227件	17,642件	25,078件	11,830件																					
寄附金額	14,186,369円	25,520,807円	316,818,248円	355,750,382円	186,352,202円																					
成果に係る評価		<p>平成27年度と同様、事務業務の委託や各種PR等を行ったが、平成27年度を下回る結果となった。</p> <p>平成29年度は、ホームページの充実や、各種PRを行うとともに、魅力のある返礼品の検討を行い寄附者の増加を図っていく。</p> <p>また、寄附実績の多い首都圏や関西圏で開催されるイベントに積極的に参加し、石巻市のふるさと納税をより多くの人に知ってもらえるよう働きかける。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	165,876,000		100,788,776					100,788,776																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	6 目	企画費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	総合戦略推進関係費				
事業コード			事 業 名	未来石巻市政政策コンテスト実施事業				
目的及び事業内容		参加者（若者）が、政策を考える過程を通じて石巻への愛着を持ち、定住・移住のきっかけとするとともに、市政について関心をもってもらい、優秀な提案については、市の施策に反映させることを目的に、「30年後の石巻市のビジョンおよび10年後の重点施策」をテーマに政策を考え、決勝大会で政策を発表し、一般観覧者の投票により最優秀賞等を決定する政策コンテストを実施する。						
取組実績		<p>7月23日から9月25日までの約2ヶ月間にわたり、未来石巻市政政策コンテストを実施した。期間中に、全体催事（3回）及び毎週1回のEメールによる相談報告を行った。 民間の視点からの助言等を考慮し、政策コンテストの運営に関して、石巻青年会議所の協力をいただいた。</p> <p>7月23日 キックオフ 市の概要説明及び市内の施設見学を実施 8月27日 中間チェック 政策提案への助言及び相談を実施 9月25日 決勝大会 各チームの政策提案をコンテスト形式で発表した。 一般観覧者の投票により、最優秀賞等を決定した。 市長とチーム代表者によるディスカッションを実施した。</p>						
成 果		<p>1 参加者のアンケート結果 (1) まちづくりに積極的に強く関わっていきたくて答えた割合：91.7% (2) 意見・感想 ・行政と市民がお互いに手を取り合う必要性を感じた。 ・今回の政策コンテストで石巻に興味を持てた。 ・市政について考え直す良い機会になった。</p> <p>2 提案された施策への反映 最優秀賞の提案について、施策への反映を現在検討している。</p> <p>3 参加者数 5チーム、27名</p> <p>4 一般観覧者数 51名</p>						
成果に係る評価		参加者である若者の、市政への関心や定住・移住のきっかけの醸成が図られたため、今後も事業を継続し検証する必要がある。 今後は、石巻専修大学や地元の高校と連携し、地域に根ざした政策コンテストを実施することにより、地元への愛着や誇りを持ち、産業を担う人材を育成して、地元定着を目指したい。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,260,000	3,259,528				3,259,528		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																	
	6 目	企画費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()																	
実施計画掲載ページ		P13	中 事 業	ICT関連事業推進費																				
事業コード		001-002-001-00947	事 業 名	オープンデータ活用推進事業																				
目的及び事業内容		被災から復興に至るまでの情報及び国がオープンデータ化可能とした情報について、本市のデータ保有状況を調査・整理し、将来オープンデータとして活用するためのデータ整備を図る。 また、民間主導のアイデアソン・ハッカソンや地元大学等と連携し、利用者ニーズに基づく行政情報のオープンデータ化を推進し、地域課題の解消や住民サービスの向上に繋げる。																						
取組実績		<p>1 震災関連資料オープンデータ化事業 (1) デジタル化された震災関連資料の整理・分類手法の検討及び実施 (2) デジタル化された震災関連情報の利活用促進のためのデータ整備 2 オープンデータ利活用促進事業及び動向調査事業 (1) 地域課題解消に繋がる行政情報のオープンデータ化を実施 (2) 本市がこれまでに公開したオープンデータの利活用状況の調査及び分析 (3) 他自治体がこれまでにオープンデータとしたデータの利活用状況の調査及び分析 (4) 調査・分析結果を踏まえた、利用ニーズの高い行政情報の発掘とデータ整備手法の検討</p>																						
成 果		<p>平成28年に、これまで震災デジタルアーカイブ情報として蓄積されていた膨大な震災関連資料について、データの整理・分類手法の検討及び整備を開始し、将来の震災伝承や防災教育の取組み等で利活用する環境整備が図られた。 また、他自治体におけるオープンデータの状況や本市におけるこれまでのオープンデータの取組みについて分析し、利用ニーズの高い分野において行政情報のオープンデータ化を図った結果、データ利用者の自発的な取組みが促進され、行政サービスの向上が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="3">達成率等</th> </tr> <tr> <th colspan="2">※解消された行政課題・地域課題</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※解消された地域課題の例：地域のごみ出しルールの浸透（転入者・学生等）</p>							区分	成果指標		達成率等	※解消された行政課題・地域課題		目標値	実績等	H27	2件	2件	100%	H28	2件	2件	100%
区分	成果指標		達成率等																					
	※解消された行政課題・地域課題																							
	目標値	実績等																						
H27	2件	2件	100%																					
H28	2件	2件	100%																					
成果に係る評価		オープンデータの基本理念に基づき、利用者ニーズや先進状況の把握に努め、地域課題の解消や行政サービス向上に繋がる行政情報の発掘とオープンデータ化を推進してきた結果、公開したデータを活用した市民向けのサービスが提供される等、データ利用者特に、若い世代におけるデータ利活用の活動が着実に浸透してきており、交流人口の増加や人材育成にも繋がっている。 また、震災関連情報に関しても、被災地である本市しか持ち得ない貴重な情報であるが故に、保有するデータを伝承や防災教育等で利活用できるデータに整備しオープンデータとすることは、大変有意義であり研究・分析・ビジネス等さまざまな分野への活用が見込まれるため、事業を継続する必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	6,000,000	5,940,000				5,940,000																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()	
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P 107		中 事 業	市民協働推進費				
事業コード	006-001-001-00023		事 業 名	地域づくり基金助成事業				
目的及び事業内容	協働のまちづくりに資する事業や地域コミュニティ活性化に資する事業に対し、協働のまちづくりの推進や地域の活性化のため、自ら考え自ら具体化していく活動を支援していくことを目的に助成金の交付を行うもの。							
取組実績	21団体より申請があり、一次審査及び公開プレゼンテーションによる審査の結果、15団体の事業に交付決定を行った。 1 新規助成団体数 2団体 (本庁2団体) 2 継続助成団体数 12団体 (本庁5件、河北1件、河南1件、桃生3件、牡鹿2件) 3 再申請団体数 1団体 (本庁1件) 計 助成団体数 15団体 (本庁8件、河北1件、河南1件、桃生3件、牡鹿2件)							
成 果	事業の実施により、地域の振興や、伝統文化の伝承など、地域コミュニティの活性化が図られた。							
		団体の名称	事業の名称		団体の名称	事業の名称		
	1	特定非営利活動法人 ばんぶきんふれあい会	ふまねつと運動によるボランティア人材育成と介護予防活動の普及啓発	8	特定非営利活動法人 ジョイフル網地島	旧児童公園の復元		
	2	特定非営利活動法人 こころの森	「こころの森」地域と森を育て感じるコミュニティ事業	9	あじ朗志組	網地島で紅葉の山の森林再生事業		
	3	特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻	お産と子育てリソースマップ作成事業	10	水と緑の環境フォーラム・ものう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会		
	4	子どものための石巻市民会議	子どもの遊び場「OGASU公園」開催	11	未来の石巻を創る中学生の応援委員会	未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト		
	5	がんばろう！石巻の会	東日本大震災追悼3.11のつどい1000日の灯り	12	河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」		
	6	特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ子ども図書館	13	河南鹿島ばやし保存会	河南鹿島ばやし伝承事業		
	7	すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る会	すばらしい北北上運河沿線の環境美化活動	14	一般社団法人 りぶらす	地域健康サポーター事業		
				15	特定非営利活動法人 T E D I C	ウィンターキャンプ事業		
成果に係る評価	目的が「地域コミュニティの活性化」と幅広いため、多様な団体（健康、伝統芸能、福祉、教育等）からの申請がある。また、継続して助成を受けている団体が多くなっており、採択団体が固定化しているため、対象事業の明確化や、同一事業の連続採択回数制限など、事業の見直しが必要である。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,000,000	3,523,000			3,523,000			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する		()	
	7 目	地域振興費		(2)	公益的な市民活動を支援する		()	
実施計画掲載ページ	P 13		中 事 業	市民協働推進費				
事業コード	001-001-002-00675		事 業 名	集会所建設費補助事業				
目的及び事業内容	【目的】住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資する。 【内容】集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、集会所建設用地の取得事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助							
取組実績	○集会所の土地購入及び改修事業（石巻市集会所建設費等補助金） 【土地購入1件】・宗全山集会所 土地314㎡購入 【改修1件】・裏沢田集会所 改修内容：トイレ改修、床、畳、屋根修繕							
成 果	集会所の建設等に対して支援を行うことにより、地域コミュニティの促進、地域の交流拠点の整備、市民と行政の協働のまちづくりの推進が図られた。							
	○石巻市集会所建設費等補助金							
	集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合			
	宗全山集会所（桃生）	土地購入	500,000円	250,000円	1/2以内			
	裏沢田集会所	改修	3,968,356円	2,644,000円	2/3以内			
	計		4,468,356円	2,894,000円				
成果に係る評価	地域の集会所は、地域コミュニティ活動の拠点として必要不可欠であることから、今後も新築や改修等に対する補助を継続していく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,908,000	2,894,000						2,894,000

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節		()																									
	7 目	地域振興費		()		()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	コミュニティ施設関係費																											
事業コード			事 業 名	コミュニティ施設管理運営事業																											
目的及び事業内容		地域のコミュニティづくりの推進を図るために設置したコミュニティ施設を、適切に管理運営することで、地域住民の連帯意識を高め、住民の福祉と健康の増進に寄与することを目的とする。																													
取 組 実 績		<p>1 向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>利用者数</td></tr> <tr><td>年間利用実績</td><td>36,372人</td></tr> </table> <p>2 鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr><td>区 分</td><td>利用者数</td></tr> <tr><td>年間利用実績</td><td>7,386人</td></tr> </table> <p>【主な利用内容】 サークル活動、町内会打ち合わせ、スポーツ少年団活動、ボランティア活動、健康教室、検診会場、企業研修等</p>						区 分	利用者数	年間利用実績	36,372人	区 分	利用者数	年間利用実績	7,386人																
区 分	利用者数																														
年間利用実績	36,372人																														
区 分	利用者数																														
年間利用実績	7,386人																														
成 果		<p>施設管理人を配置し、適正管理に努めた。 利用状況としては、継続的に使用している団体もあり、地域のコミュニティづくりの推進が図られた。</p> <p>【使用実績】</p> <p>向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>件数</th><th>使用料</th></tr> <tr><td>H26</td><td>1,606件</td><td>3,721,808円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,380件</td><td>3,483,540円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,241件</td><td>2,915,160円</td></tr> </table> <p>鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>件数</th><th>使用料</th></tr> <tr><td>H26</td><td>284件</td><td>0円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>303件</td><td>416,000円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>402件</td><td>479,400円</td></tr> </table> <p>※ 鹿妻南コミュニティハウスは平成27年4月30日までの期間、東日本大震災の復興に資するために、地域のコミュニティ再生を目的として、市民または市内に活動拠点を置く団体が、地域のコミュニティづくりのために主催し、または主体となって利用する場合は、使用料を100%免除とした。</p>						区分	件数	使用料	H26	1,606件	3,721,808円	H27	1,380件	3,483,540円	H28	1,241件	2,915,160円	区分	件数	使用料	H26	284件	0円	H27	303件	416,000円	H28	402件	479,400円
区分	件数	使用料																													
H26	1,606件	3,721,808円																													
H27	1,380件	3,483,540円																													
H28	1,241件	2,915,160円																													
区分	件数	使用料																													
H26	284件	0円																													
H27	303件	416,000円																													
H28	402件	479,400円																													
成果に係る評価		<p>サークル活動や町内会活動の場として施設が活用されることにより、地域コミュニティの醸成が図られ、特に鹿妻地区においては震災により失われたコミュニティ形成の一助となった。 企業・市外も含めた様々な種類の団体等からの利用申込みがあり、周辺地域住民だけではなく交流の場となった。 鹿妻南コミュニティハウスについては、平成27年度から料金の徴収をすることとしたところであるが、施設の認知度が高まったため利用件数が増加したものと考えられる。 向陽地区コミュニティセンターの利用人数が減少した理由として、被災後再建した集会所等施設や復興住宅の集会所施設が順次完成し、その利用が進んだためと考えられる。</p>																													
(単位:円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	14,788,163	14,219,141			4,298,228	9,920,913																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節		()																									
	7 目	地域振興費		()		()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	市民協働推進費																											
事業コード			事 業 名	NPO支援推進事業																											
目的及び事業内容		<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として「NPO支援オフィス」を開設し、市民公益活動団体、市民、事業者及び市の連携・交流の場所を提供することにより、石巻市内で活動するNPOの育成・支援を図る。</p> <p>1 NPO支援オフィスの施設管理業務 2 情報収集提供業務 3 相談事業 4 ネットワーク事業（石巻市NPO連絡会議の事務局）</p>																													
取 組 実 績		<p>NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのまきNPOセンターを、石巻市NPO支援オフィスの指定管理者とし、利用者の様々なニーズに対応した。</p> <p>1 施設管理業務 (1) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸出し (2) 機器利用サービス(印刷機・コピー機・裁断機・パソコン等の貸出し) 2 情報収集提供業務 (1) 市民活動情報の収集・提供 (2) 市民活動情報に関する図書資料の管理・貸出 (3) 機関誌作成・・・「んぼん舗」 毎月1回発行 (4) メルマガ作成・・・「んぼん舗」発行 毎月1~2回発行 3 相談業務・・・NPOについての相談・問い合わせ等に関する対応 (1) 団体設立、運営等に係る相談 (2) 補助金等の案内 4 ネットワーク事業（石巻市NPO連絡会議の事務局） (1) 石巻市NPO連絡会議の全体会開催（①平成28年9月 ②平成29年1月） (2) 地元マスコミとの協働 「いしのまきNPO日和」への情報提供 5 研修業務（各団体の基盤向上のための研修の実施） 年5回開催</p>																													
成 果		<p>・NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>来館者数</th><th>会議室利用数</th><th>相談件数</th><th>図書閲覧者数</th><th>パソコン利用者数</th><th>機器利用者数</th><th>掲示物依頼数</th></tr> <tr><td>H27実績</td><td>3,442人</td><td>222件</td><td>132件</td><td>4人</td><td>108人</td><td>559人</td><td>61件</td></tr> <tr><td>H28実績</td><td>3,292人</td><td>230件</td><td>106件</td><td>2人</td><td>48人</td><td>519件</td><td>30件</td></tr> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体 登録数 137団体（前年比7団体増） ・石巻NPO連絡会議…石巻で活動するNPOの連携の場として設立 ①9月24日 講演とワークショップ 参加：29団体 市職員：9課12人 ②1月21日 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」概略説明と活動分野別ワークショップ 参加：29団体 市職員：8課11人</p> <p>・研修業務 チラシ作成講座 ①7月25日②8月5日 ホームページ作成講座 ①11月25日②12月2日 団体運営のための勉強会 ①1月27日</p>						区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	掲示物依頼数	H27実績	3,442人	222件	132件	4人	108人	559人	61件	H28実績	3,292人	230件	106件	2人	48人	519件	30件
区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	掲示物依頼数																								
H27実績	3,442人	222件	132件	4人	108人	559人	61件																								
H28実績	3,292人	230件	106件	2人	48人	519件	30件																								
成果に係る評価		<p>市民公益活動団体の登録は前年から7団体増えている。 前年より会議室利用件数は増えたものの、来館者数・相談件数・施設利用件数等は減少しているが、機関誌・メルマガを定期的に発行することで、各団体に対し新しい情報を提供できていると思われる。 石巻市NPO連絡会議を平成28年度は2度開催しているが、各団体関係者に加え、市の関係課の職員も参加することで、団体同士の横のつながりだけでなく、行政とNPOの協働の関係性を強化する場にもなった。 研修も年5回開催し、各団体のスキルアップにつながっている。</p>																													
(単位:円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	8,640,000	8,640,000				8,640,000																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																																															
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																																																															
	7 目	地域振興費		(2)	市民参加を促進する		()																																																															
実施計画掲載ページ		P14	中 事業	地域振興関係費																																																																		
事業コード		001-002-002-00016	事業名	地域まちづくり委員会事業																																																																		
目的及び事業内容																																																																						
<p>旧町単位に地域住民と行政が協働し、地域づくりを進められる仕組みとして、地域まちづくり委員会を設置し、地域の活性化や地域の均衡ある発展についての協議やまちづくりの推進や提言を行うなど各地域の発展や課題解決に努める。</p>																																																																						
取組実績																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">【開催実績】</th> <th rowspan="2">委員数</th> <th colspan="2">第1回</th> <th colspan="2">第2回</th> <th colspan="2">第3回</th> </tr> <tr> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地域まちづくり委員会</td> <td>11人</td> <td>11/16</td> <td>10名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>雄勝地域まちづくり委員会</td> <td>20人</td> <td>8/29</td> <td>15名</td> <td>2/8</td> <td>16名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>河南地域まちづくり委員会</td> <td>18人</td> <td>11/29</td> <td>18名</td> <td>2/24</td> <td>15名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>桃生地域まちづくり委員会</td> <td>11人</td> <td>3/9</td> <td>8名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>北上地域まちづくり委員会</td> <td>19人</td> <td>6/9</td> <td>14名</td> <td>9/28</td> <td>11名</td> <td>3/7</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地域まちづくり委員会</td> <td>15人</td> <td>6/20</td> <td>8名</td> <td>10/19</td> <td>7名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>									【開催実績】	委員数	第1回		第2回		第3回		開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	河北地域まちづくり委員会	11人	11/16	10名	-	-	-	-	雄勝地域まちづくり委員会	20人	8/29	15名	2/8	16名	-	-	河南地域まちづくり委員会	18人	11/29	18名	2/24	15名	-	-	桃生地域まちづくり委員会	11人	3/9	8名	-	-	-	-	北上地域まちづくり委員会	19人	6/9	14名	9/28	11名	3/7	14名	牡鹿地域まちづくり委員会	15人	6/20	8名	10/19	7名	-	-
【開催実績】	委員数	第1回		第2回		第3回																																																																
		開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	開催日	委員参加数																																																															
河北地域まちづくり委員会	11人	11/16	10名	-	-	-	-																																																															
雄勝地域まちづくり委員会	20人	8/29	15名	2/8	16名	-	-																																																															
河南地域まちづくり委員会	18人	11/29	18名	2/24	15名	-	-																																																															
桃生地域まちづくり委員会	11人	3/9	8名	-	-	-	-																																																															
北上地域まちづくり委員会	19人	6/9	14名	9/28	11名	3/7	14名																																																															
牡鹿地域まちづくり委員会	15人	6/20	8名	10/19	7名	-	-																																																															
成 果																																																																						
<p>(河北) 地域包括ケアについて議論された。</p> <p>(雄勝) 雄勝地区統合小中学校開校の進捗状況、旧中心部の復興計画状況、海と暮らすガーゼンシティ雄勝、「森と花とオリーブ、そして海」の雄勝創造、雄勝ガーデン(仮称)建設基本構想、高台拠点施設基本計画の見直し状況、大須崎灯台展望地周辺整備調査、漁港用梯子設置事業、雄勝地区震災復興まちづくり協議会基金の運用について議論された。</p> <p>(河南) 石巻市立小・中学校学区再編計画、各旧町の不均衡等について議論され、地域課題解決に向けたまちづくりの施策提言のためのワークショップが行われた。</p> <p>(桃生) 幼稚園・保育所・小・中学校の学区編成計画の策定を中心に学級数の減少に伴う影響、適正規模・適正配置に関する基本方針に対する本市の現状について議論された。</p> <p>(北上) 白浜海水浴場、相川復興交流センター、鎮魂の森、防集団地の進捗状況、北上小学校整備計画、水辺センター条例の廃止、フィールドミュージアム、ビジターセンター、等について議論された。</p> <p>(牡鹿) 今後のまちづくり委員会の進め方、交流人口増加の方策、体験型漁業観光、おしか番屋、牡鹿交流センター「ほっとまる」の活用方法等について議論された。</p>																																																																						
成果に係る評価																																																																						
<p>H28年度は、各地域において1回から3回の委員会を開催している。内容は、各地域の課題分析やまちづくりについての協議、被災の大きい地域では、当該地域の復興事業の進捗状況を説明している。震災後、復興事業関連や、人口減少対策を含めた地方創生事業に協議が集中していたことから、今後は積極的に各地域のまちづくり施策についての協議を行う。</p>																																																																						
(単位: 円)																																																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	3,494,492		1,391,093					1,391,093																																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																											
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																											
	7 目	地域振興費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																											
実施計画掲載ページ		P65	中 事業	結婚支援事業費																														
事業コード		004-003-001-01089	事業名	結婚支援事業																														
目的及び事業内容																																		
<p>本市在住の未婚男性に出会いの機会を提供するため婚活イベントを実施し、結婚アドバイザーによる事前講習会を行い、交際に至るまでを支援する。また、結婚の前段として、出会いの機会が得られない未婚者同士が出会えるきっかけとなる場を提供する。独身の男女に出会いの機会を提供することにより、少子化対策の推進や、参加者の結婚に対する意識の向上に繋げる。</p>																																		
取組実績																																		
<p>1 1回目市主催婚活イベント事業内容</p> <p>(1) 参加者募集(定員男女各20名:30歳以上から50歳以下※男性のみ市内在住) ※参加費:男性5,000円 女性3,000円(仙台駅発着で送迎バスを用意)</p> <p>(2) 男性参加者への結婚アドバイザーによる事前セミナー 開催日:平成28年10月29日(土) 会場:石巻市役所 第3・4委員会室 参加者:20名</p> <p>(3) 婚活イベント:平成28年11月12日(土) 会場:飛翔閣 ア 内容:自己紹介、アイスブレイク、レクリエーション、フリータイム、カップリングタイム</p> <p>2 2回目市主催婚活イベント事業内容</p> <p>(1) 参加者募集(定員男女各20名:25歳以上から40歳以下※男性のみ市内在住) ※参加費:男性5,000円 女性2,000円(仙台駅発着で送迎バスを用意)</p> <p>(2) 男性参加者への結婚アドバイザーによる事前セミナー 開催日:平成28年11月23日(水) 会場:石巻中央公民館 第1講座室 参加者:11名</p> <p>(3) 婚活イベント:平成28年12月10日(土) 会場:プレナミヤギ/サン・ファン館 ア 内容:自己紹介、ボウリング、レクリエーション、フリータイム、カップリングタイム</p> <p>3 補助事業</p> <p>(1) 募集事業数:婚活事業⇒2団体・補助上限額30万、恋活事業⇒4団体・補助上限額15万 (2) 団体選定方法:各地域まちづくり委員会会長推薦者6名と復興政策部長の計7名で組織し、補助交付団体として適当かどうか、公平・公正な視点から審査する (3) 補助交付団体数:恋活事業2団体(公益社団法人石巻法人会青年部会、河南桃生商工会青年部)</p>																																		
成 果																																		
<p>1 1回目市主催婚活イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> グループトーク、フリートークなどゆっくり話せる時間を長く取ったことから、7組のカップルが成立した。 市内の店舗、美容院等へのチラシ配架をお願いしたことにより、定員を大きく超える申し込みがあった。 市内の店舗を会場としたため、地場産品を活用した郷土料理を参加者に提供することができた。 <p>2 2回目市主催婚活イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動が多く、参加者同士の話せる時間が短かったが、男性参加者に事前にアナウンスしていたことで、コミュニケーションを積極的に取ろうとする意欲が見られ、9組のカップル成立に繋がった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【1回目イベント】</th> <th colspan="3">【2回目イベント】</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>イベント参加者数</th> <th>達成率</th> <th>区分</th> <th>イベント参加者数</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>20名</td> <td rowspan="3">95%</td> <td>男性</td> <td>20名</td> <td rowspan="3">92.5%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>20名</td> <td>女性</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40名</td> <td>合計</td> <td>37名</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加対象者に出会いの機会を提供でき、新たな事業に挑戦したことで団体の成長に繋がった。 									【1回目イベント】			【2回目イベント】			区分	イベント参加者数	達成率	区分	イベント参加者数	達成率	男性	20名	95%	男性	20名	92.5%	女性	20名	女性	18名	合計	40名	合計	37名
【1回目イベント】			【2回目イベント】																															
区分	イベント参加者数	達成率	区分	イベント参加者数	達成率																													
男性	20名	95%	男性	20名	92.5%																													
女性	20名		女性	18名																														
合計	40名		合計	37名																														
成果に係る評価																																		
<p>婚活イベントを継続的に複数回開催することにより、出会いの機会を設け結婚に繋がる可能性を高めるとともに、不成立だった参加者へのフォローアップを行うことにより、結婚に対する意識の向上が図られた。</p> <p>事前セミナーを実施したことにより、イベント当日の男性参加者の服装やコミュニケーション意欲が改善され、カップリング率の向上に繋がった。</p>																																		
(単位: 円)																																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	3,133,680		2,671,648		1,195,000		282,000	1,194,648																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 32・P 33	中 事 業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費				
事業コード		002-003-001-00019 002-003-001-00020	事 業 名	国内姉妹都市・友好都市交流事業				
目的及び事業内容		各友好都市、姉妹都市との友好協力関係の促進及び相互理解のため、産業・文化・歴史・教育・福祉などそれぞれの特性を生かした訪問交流事業等を実施し、地域の活性化を図る。						
取 組 実 績		<p>【友好都市山口県萩市との交流】</p> <p>1 石巻市・萩市友好都市提携に関する協定書調印式にかかる萩市訪問 (1)日 程：平成28年4月7日、8日、9日 (2)場 所：山口県萩市 (3)本市訪問者：13人 (4)内 容：友好都市提携に関する協定書調印式、記念植樹式、記念交流会、市内視察</p> <p>2 山口県萩市・石巻市友好都市締結記念イベント ・萩市特産品物産展 (1)日 程：平成28年4月24日 (2)場 所：道の駅上品の郷 ・萩市紹介パネル展 (1)日 程：平成28年4月25日、26日、27日 (2)場 所：イオン石巻</p> <p>3 山口県萩市訪問団受入 (1)日 程：平成28年7月30日、31日、8月1日 (2)場 所：石巻市 (3)来訪者：13人 (4)内 容：萩市・石巻市友好都市植樹式、交流会、供養際等川開き行事への参加、市内視察</p> <p>【友好都市山形県河北町との交流】</p> <p>1 「谷地どんがまつり」見学ツアー (1)日 程：平成28年9月17日 (2)場 所：山形県河北町 谷地八幡神社・紅花資料館ほか (3)参加者：市民34人 (4)内 容：紅花資料館での紅花染めの体験、囃子屋台・どんが祭り見学</p> <p>2 大漁まつり見学ツアー (1)日 程：平成28年10月16日 (2)場 所：石巻魚市場及び道の駅「上品の里」 (3)参加者：山形県河北町市民80人 (4)内 容：大漁まつり見学、道の駅「上品の郷」見学・買物 ア 山形河北町特産品のラ・フランスやりんごを販売 イ 「ご当地鍋共演」では山形県河北町の「納豆汁」を販売</p> <p>【姉妹都市・茨城県ひたちなか市との交流】</p> <p>1 ひたちなか市・石巻市姉妹都市交流事業 (1)日 程：平成28年11月5日、6日 (2)場 所：茨城県ひたちなか市 (3)参加者：34人 (4)内 容：両市少年野球チーム及びチーム関係者によるスポーツ交流、交歓会、産業交流フェアの見学・参加 ※両市の物産交流は石巻市の大漁まつり、ひたちなか市の産業フェアなどの開催時に毎年行われている。</p>						
成 果		<p>【山口県萩市】平成28年度が友好都市締結1年目であり、両市長ほか関係者及び市民が互いを訪問し、相互理解を深めると共に交流の推進が図れた。また締結記念イベントの実施により、多くの市民に萩市の紹介と友好都市締結の周知を行うことができた。</p> <p>【山形県河北町】両市町を代表するお祭りの見学ツアーの実施により、両市町の活性化と市民町民間の交流が図られた。</p> <p>【茨城県ひたちなか市】スポーツ交流を通して、また産業交流フェアを見学・参加することにより、両市民の相互理解を深め、交流を図ることができた。</p>						
成果に係る評価		相互理解を深め友好協力関係の促進を図るため、訪問及び受入交流事業の実施、友好都市締結記念イベントを開催したことにより、交流を推進し地域活性化にも繋がったことから、今後も様々な分野の友好都市交流事業を継続する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,342,360		3,776,797				102,000	3,674,797

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()	
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P 107	中 事 業	地域交流・定着支援等事業費				
事業コード		006-001-001-01090	事 業 名	移住対策事業〔地方創生加速化交付金〕・〔地方創生推進交付金〕				
目的及び事業内容		本市への移住希望者の移住支援、移住者の住宅支援及び移住者を活用した人材育成支援等を行い、さらに、これらの事業を都市部等の移住希望者へ情報発信をすることで移住促進を図る。また、起業家人材育成に実績のあるNPO法人ETICが事務局となり、全国の志を同じくする8つの自治体でローカルベンチャー推進協議会を設立した。当協議会は、一つの自治体では困難な首都圏等の起業志望を獲得し、各自治体やETICが持つ起業家育成支援の知識を共有しながら、起業志望者を起業に向けて支援することで定住・定着を図るものである。						
取 組 実 績		<p>1 スマートな地域資源活用創造(プロデュース)事業委託業務 期間：H28.7.25～H29.3.31 (1) 移住コンシェルジュ設置(コンシェルジュ2名体制、移住希望者名簿登録数53名、移住者3名) ・移住相談窓口の設置、移住及び生活に関する情報の提供、首都圏でのPR(都内2回) (2) 石巻チャレンジワーキング(体験型事業及び研修会の参加者数：37名) ・起業志望者を対象とした働き方を学ぶ体験型事業(2回)、地元で起業した代表者を講師で招いた研修会(1回) (3) 石巻版松下村塾(技術取得勉強会参加者数：30名、周知イベント参加者数：111名) ・プログラミング言語を使ったアプリ等の開発勉強会2回、周知イベント2回(市内1回、都内1回) (4) 地域交流・定着支援事業(参加者数：25名) ・移住者を受け入れるにあたっての心得等のワークショップ(北上地区1回)、移住者交流会1回 (5) 空き家活用・移住促進事業(古民家改修完成：H29.3.28、石巻市北上町橋浦館下104床面積140.22㎡) ・古民家をIT環境を整えた改修を行い、IT技術者等の人材育成の場所とした。</p> <p>2 地域活躍支援推進事業委託業務 期間：H28.9.1～H29.3.31 (1) 移住・定住総合情報発信 ・リリースイベント(H28.11.24・東京都・参加者50名)、石巻情報アプリのデータベース構築作業 ・フリーペーパー2刊発行 各1万部作成(配布場所：首都圏、東北地区、市内各施設) (2) 総合調整管理業務(コンソーシアム「ハグクミ」の各事業の調整、会議等の日程調整業務)</p> <p>3 ローカルベンチャー関連事業 ○協議会名：ローカルベンチャー推進協議会 ○参加自治体数：8自治体 内訳：岡山県西粟倉村(代表幹事)、岩手県釜石市(副代表幹事)北海道厚真町、下川町、徳島県上勝町、宮崎県日南市、宮城県気仙沼市、石巻市 ①メディア・人材マッチング(推進協議会主催の起業志望者を対象としたイベントに参加) ・地域仕掛け人市 開催日：H28.10.29 場所：東京都 参加者：400名 ・ローカルベンチャーイニシアティブ 開催日：H29.2.25 場所：東京都 参加者：200名 ②起業家型人材育成(市外の起業志望者が市内の起業者の視察や研修を行い起業へのきっかけを提供する。) ・起業型人材育成基礎講座 開催日：H29.1.28～1.29 場所：市内 参加者：8名 ③事業成長支援(協議会参画自治体職員対象研修、ローカル事務局を対象としたスキルアップ研修) ・自治体合同合宿 1回目⇒開催日：H28.10.24～25 場所：岡山県西粟倉村 2回目⇒開催日：H29.2.6～8 場所：宮崎県日南市 ・コーディネーター研修 開催日：H28.12.6 場所：東京都</p>						
成 果		移住の相談窓口である移住コンシェルジュを設置し、移住希望者からの相談対応や、首都圏で開催する移住イベントに参加してPRを行った結果、相談者数は53名、うち3名が本市へ移住した。また、人材育成事業においては、知識や技術習得のほか、起業志望者と地元起業家をマッチングし、参加者の起業に対する意識を向上させ、人材育成が図られた。さらに、ローカルベンチャー推進協議会に参画することで、先進自治体の事例や起業させるまでの支援のノウハウを学ぶことができた。						
成果に係る評価		移住施策の推進を図るために、移住希望者の相談窓口を設置、起業志望者を対象とした人材育成、移住して間もない方の定住・定着への支援などを実施し、市外から人を呼び込む施策を継続的に行っていく。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	53,614,320		52,806,740		41,670,000			11,136,740

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		()																
実施計画掲載ページ		P115	中 事 業	離島振興対策費																			
事業コード		006-004-002-00015	事 業 名	離島航路維持事業																			
目的及び事業内容		本航路は島民の交通手段、生活物資等の市民生活を支える唯一の輸送手段であり、経営安定や欠損の補助などによる支援を実施する。 また、夜間救急患者搬送に対応できるような田代島の船舶待機に対する支援を実施する。																					
取 組 実 績		<p>1 離島航路維持費補助金の交付 安定的な航路運営を実現するため、国、県と協調しながら、離島航路事業者に補助金を交付した。</p> <p>2 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民の生活の足の確保や、公共交通機関としての利便性を高めることを目的に運賃割引を実施し運賃収入欠損分について支援を行った。</p> <p>3 離島航路事業経営安定資金貸付の実施 航路事業者の財務基盤を強化し円滑な事業運営を行うため、事業資金の貸付を行い資金調達を支援し、更に安定した経営を行うため、長期貸付金に切り替えた。</p> <p>4 田代島緊急医療対策補助金の交付 夜間における患者の緊急搬送を行うため、田代島へブルーライナー及び船員を待機をさせる費用を航路事業者に補助金として交付した。</p>																					
成 果		<p>高齢化や過疎化により島民の輸送人員は減少しているが、事業者の経営努力や観光施設等の復旧などにより、交流人口は増加し、平成28年度は累積欠損額が解消された。併せて平成27年度から継続して資産総額が負債を上回り、債務超過状態も解消されていることから安定した航路運航が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間運航回数</td> <td>4,730回</td> <td>5,416回</td> <td>5,147回</td> <td>4,939回</td> </tr> <tr> <td>年間乗客者数</td> <td>61,949人</td> <td>68,578人</td> <td>85,553人</td> <td>94,376人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年6月11日 網地島から夜間緊急搬送を実施し、容態の急変した患者を石巻港まで搬送した。</p>							主な指標項目	H25	H26	H27	H28	年間運航回数	4,730回	5,416回	5,147回	4,939回	年間乗客者数	61,949人	68,578人	85,553人	94,376人
主な指標項目	H25	H26	H27	H28																			
年間運航回数	4,730回	5,416回	5,147回	4,939回																			
年間乗客者数	61,949人	68,578人	85,553人	94,376人																			
成果に係る評価		<p>東日本大震災の影響により、利用客は震災前の半分程度に落ち込んだが、平成25年度には観光拠点の復興が進んだこともあり、平成28年度は利用客数を順調に伸ばし、震災以前を上回る活況を取り戻しており、各種支援を通じた安定的な航路運営が実現された。 平成28年度は6月に1件の夜間緊急搬送実績があり、人命の救助にも貢献した。 旅客収入増を受け航路運営が安定化してきた一方で、船舶の老朽化など経費の増加や安全性の低下などの課題があることから、新船舶導入を進め、平成30年10月の就航開始を目指す。</p>																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	121,095,000		107,829,420		1,257,344		51,000,000	55,572,076															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																												
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																												
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																												
実施計画掲載ページ		P114	中 事 業	地域交通対策関係費																																																															
事業コード		006-004-001-00011	事 業 名	住民バス運行費補助事業																																																															
目的及び事業内容		交通弱者となっている高齢者等の通院、買い物といった日常生活上の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり運行協議会を組織し運行している住民バス及び乗合タクシーの運行事業費を補助し支援を行う。																																																																	
取 組 実 績		<p>市民の移動手段確保のため、市内9地区の住民バス及び乗合タクシー事業の運行主体である運行協議会に対し運行費を補助した。</p> <p>平成28年度運行協議会別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>運行主体</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>7,938,187円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区住民バス運行協議会</td> <td>21,188,580円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>6,937,327円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>11,746,028円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>8,291,397円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>6,848,302円</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>11,696,641円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>4,885,450円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>3,521,330円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>83,053,242円</td> </tr> </tbody> </table>							名称	運行主体	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	7,938,187円	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	21,188,580円	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	6,937,327円	桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	11,746,028円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	8,291,397円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	6,848,302円	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	11,696,641円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	4,885,450円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	3,521,330円	合計		83,053,242円																										
名称	運行主体	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	7,938,187円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	21,188,580円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	6,937,327円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	11,746,028円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	8,291,397円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	6,848,302円																																																																	
荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	11,696,641円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	4,885,450円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	3,521,330円																																																																	
合計		83,053,242円																																																																	
成 果		<p>各地域の住民バス及び乗合タクシーの運行費を補助することで、住民バス等の運行を支援し、地域住民の日常生活面での移動手段の確保が図られている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>5,614人</td> <td>1,656便</td> <td>4,917人</td> <td>1,621便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>10,426人</td> <td>7,712便</td> <td>9,065人</td> <td>7,598便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>4,312人</td> <td>2,688便</td> <td>4,412人</td> <td>2,823便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>6,283人</td> <td>2,304便</td> <td>7,637人</td> <td>2,310便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>8,708人</td> <td>1,452便</td> <td>7,397人</td> <td>1,446便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>9,384人</td> <td>4,430便</td> <td>9,301人</td> <td>4,420便</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>5,764人</td> <td>1,456便</td> <td>5,787人</td> <td>1,450便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>10,388人</td> <td>5,961便</td> <td>9,465人</td> <td>5,498便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>7,280人</td> <td>4,215便</td> <td>7,521人</td> <td>4,312便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68,159人</td> <td>31,874便</td> <td>65,502人</td> <td>31,478便</td> </tr> </tbody> </table>							名称	H27		H28		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	5,614人	1,656便	4,917人	1,621便	雄勝地区住民バス	10,426人	7,712便	9,065人	7,598便	河南地区乗合タクシー	4,312人	2,688便	4,412人	2,823便	桃生地区住民バス	6,283人	2,304便	7,637人	2,310便	北上地区住民バス	8,708人	1,452便	7,397人	1,446便	稲井地域乗合タクシー	9,384人	4,430便	9,301人	4,420便	荻浜地区住民バス	5,764人	1,456便	5,787人	1,450便	山の手地区乗合タクシー	10,388人	5,961便	9,465人	5,498便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	7,280人	4,215便	7,521人	4,312便	合計	68,159人	31,874便	65,502人	31,478便
名称	H27		H28																																																																
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																															
河北地区住民バス	5,614人	1,656便	4,917人	1,621便																																																															
雄勝地区住民バス	10,426人	7,712便	9,065人	7,598便																																																															
河南地区乗合タクシー	4,312人	2,688便	4,412人	2,823便																																																															
桃生地区住民バス	6,283人	2,304便	7,637人	2,310便																																																															
北上地区住民バス	8,708人	1,452便	7,397人	1,446便																																																															
稲井地域乗合タクシー	9,384人	4,430便	9,301人	4,420便																																																															
荻浜地区住民バス	5,764人	1,456便	5,787人	1,450便																																																															
山の手地区乗合タクシー	10,388人	5,961便	9,465人	5,498便																																																															
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	7,280人	4,215便	7,521人	4,312便																																																															
合計	68,159人	31,874便	65,502人	31,478便																																																															
成果に係る評価		<p>高齢者等の交通弱者となっている地域住民の生活の足として、住民バス及び乗合タクシーの運行により、移動手段の確保がされている。また、低廉な運賃での運行を継続して行うとともに、一部の路線では商業施設、医療機関までの路線延長を行うことで、被災者の負担軽減及び利便性の向上が図られている。</p> <p>一方で、利用者が減少している路線もあり、防災集団移転や復興公営住宅建設に対応した公共交通機関として、適切な時期に路線再編を検討していくとともに、今後も地域住民の足として継続して運行する必要があることから、適切な運賃への改定が必要となる。</p>																																																																	
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	84,827,000		83,053,242		36,539,813			46,513,429																																																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																					
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																					
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																					
実施計画掲載ページ		P115	中 事 業	社鹿地区市民バス運行事業費																								
事業コード	006-004-001-00012	事 業 名	社鹿地区市民バス運行事業																									
目的及び事業内容	<p>路線バスや住民バスが運行されていない社鹿地区において、網地島を含めて市民バスを運行することにより、移動手段を持たない高齢者等の通院・買物等の外出・移動を支援する。 また、遠距離通学となる小学生の安全な通学手段を確保するために市民バスの活用を図る。</p>																											
取組実績	<p>下記路線において、市民バスの運行を実施した。 平成28年度では全体の便数を調整し、スクールバスとしての利便性向上を図るため、「寄磯～社鹿総合支所線」を増便した。</p> <p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="3">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～社鹿総合支所線</td> <td>平日 13便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>泊～福祉パーク線</td> <td>平日 7便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>新山・泊～大原線</td> <td>平日 2便/日</td> <td>土・日・祝日</td> <td>年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>4便/日</td> <td colspan="2">年末年始は運休</td> </tr> </tbody> </table>								路線名	運行状況			寄磯～社鹿総合支所線	平日 13便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休	泊～福祉パーク線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休	新山・泊～大原線	平日 2便/日	土・日・祝日	年末年始は原則運休	網地島線	4便/日	年末年始は運休	
	路線名	運行状況																										
	寄磯～社鹿総合支所線	平日 13便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																								
泊～福祉パーク線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																									
新山・泊～大原線	平日 2便/日	土・日・祝日	年末年始は原則運休																									
網地島線	4便/日	年末年始は運休																										
成 果	<p>市民バスの運行により、交通弱者となっている高齢者等の外出・移動手段が確保され、通院・買物等の日常生活上の支援が図られた。また、小学生の安全な通学手段として活用されており、スクールバスとしての機能を果たしている。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>17,827人</td> <td>17,229人</td> <td>16,195人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>9,704人</td> <td>9,321人</td> <td>8,907人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>27,531人</td> <td>26,550人</td> <td>25,102人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>6,697便</td> <td>7,068便</td> <td>7,208便</td> </tr> </tbody> </table>									H26	H27	H28	一般利用	17,827人	17,229人	16,195人	教育目的利用	9,704人	9,321人	8,907人	利用者数合計	27,531人	26,550人	25,102人	運行便数	6,697便	7,068便	7,208便
	H26	H27	H28																									
一般利用	17,827人	17,229人	16,195人																									
教育目的利用	9,704人	9,321人	8,907人																									
利用者数合計	27,531人	26,550人	25,102人																									
運行便数	6,697便	7,068便	7,208便																									
成果に係る評価	<p>平成27年度に土曜日運行を開始し、平成28年度から便数を増便したものの、利用者は減少している。原因は社鹿地区の人口減少によるものと考えられるが、移動手段を持たない高齢者等を中心とした交通弱者の通院・買物の移動手段として活用され、福祉の増進及び生活環境の向上に寄与できており、地域住民の足として重要な移動手段である。 教育目的による利用についても、小学生の利用が減少しているが、復興事業に係る大型車両の往来が多く、スクールバスとしての運行により、通学時の安全確保が図られている。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	30,691,000	30,191,846	394,000		1,206,335	28,591,511																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																	
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																	
実施計画掲載ページ		P114	中 事 業	地域交通対策関係費																																																				
事業コード	006-004-001-00010	事 業 名	路線バス運行維持対策補助事業																																																					
目的及び事業内容	<p>自家用車等による交通手段を持たない市民の通院、通学、買い物といった日常生活上の移動手段を確保するため、市内各エリアを運行している路線バスの運行主体（ミヤコーバス）に対して運行費を補助する。 また、広域路線として合併前の旧市町を結び運行している路線は、国庫補助対象路線であり、国、県と協調補助を行う。</p>																																																							
取組実績	<p>市内の各エリアを結び運行する広域路線と市中心部を運行する路線バスの運行主体に対し、バス路線の維持及び安定した運行が図れるよう運行費の補助を実施した。</p> <p>平成28年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>系統数</th> <th>補助の別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>1,333,000円</td> </tr> <tr> <td>鮎川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>10,564,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、市単独補助路線</td> <td>9,602,336円</td> </tr> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>972円</td> </tr> <tr> <td>三陸線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>10,366,113円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、事業者自主運行路線</td> <td>8,228,505円</td> </tr> <tr> <td>石巻市内線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>2,225,000円</td> </tr> <tr> <td>日赤・渡波線</td> <td>3</td> <td>市単独補助路線、事業者自主運行路線</td> <td>2,042,000円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>5,483,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>6,002,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>55,846,926円</td> </tr> </tbody> </table>								路線名	系統数	補助の別	補助金額	女川線	1	国庫補助路線	1,333,000円	鮎川線	1	国庫補助路線	10,564,000円	石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	9,602,336円	石巻免許センター線	1	国庫補助路線	972円	三陸線	1	国庫補助路線	10,366,113円	河南線	2	国庫補助路線、事業者自主運行路線	8,228,505円	石巻市内線	1	市単独補助路線	2,225,000円	日赤・渡波線	3	市単独補助路線、事業者自主運行路線	2,042,000円	中里線	1	市単独補助路線	5,483,000円	渡波線	1	市単独補助路線	6,002,000円	合計			55,846,926円
	路線名	系統数	補助の別	補助金額																																																				
	女川線	1	国庫補助路線	1,333,000円																																																				
鮎川線	1	国庫補助路線	10,564,000円																																																					
石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	9,602,336円																																																					
石巻免許センター線	1	国庫補助路線	972円																																																					
三陸線	1	国庫補助路線	10,366,113円																																																					
河南線	2	国庫補助路線、事業者自主運行路線	8,228,505円																																																					
石巻市内線	1	市単独補助路線	2,225,000円																																																					
日赤・渡波線	3	市単独補助路線、事業者自主運行路線	2,042,000円																																																					
中里線	1	市単独補助路線	5,483,000円																																																					
渡波線	1	市単独補助路線	6,002,000円																																																					
合計			55,846,926円																																																					
成 果	<p>乗車率が低下している路線が多く、全体的にも利用者が減少している。その影響から運賃収入が減少し、補助金額が増大している状況にある。しかし、高齢者等の交通手段確保のためには、地域にとって欠くことのできない路線であり、運行主体に対し運行費を補助することで、安定した路線バスの運行が可能となり路線維持に繋がっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> </tr> <tr> <td>うち国庫補助対象路線数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> </tbody> </table>								年度	H26	H27	H28	路線数	10路線14系統	10路線14系統	10路線14系統	うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																				
年度	H26	H27	H28																																																					
路線数	10路線14系統	10路線14系統	10路線14系統																																																					
うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																					
成果に係る評価	<p>広域路線を中心にバス利用者が減少しているが、通院、通学、買物等の日常生活における移動手段確保のためにも欠かせない路線であり、バス路線を維持していくことが必要である。 持続的にバス路線を維持、確保していくためには、広域路線や地域路線等の効率的運行や震災による居住エリアの変化など復興事業の進展に対応した路線再編が必要不可欠であり、変化する交通需要に対応し乗車率の向上につながるよう総合交通戦略に基づき、交通事業者と協議しバス路線の再編を実施していく必要がある。</p>																																																							
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	55,906,000	55,846,926			15,282,035	40,564,891																																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																			
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する		()																			
実施計画掲載ページ		P14	中 事業	男女共同参画推進費																						
事業コード		001-002-003-00017	事業名	男女共同参画推進事業																						
目的及び事業内容		男性も女性もすべての個人が社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、政治的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担う男女共同参画社会の実現を目指し、総合的かつ計画的に推進するため、石巻市男女共同参画基本計画の進行管理・女性人材育成事業や啓発事業を実施する。																								
取組実績		<p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第2次 平成23～28年度）の進捗管理 各課における男女共同参画推進事業の取組実績と成果を取りまとめ、男女共同参画推進審議会へ諮問し評価をいただいた。</p> <p>2 石巻市男女共同参画基本計画（第3次 平成29～32年度）の策定 第3次計画の策定にあたり、NPO団体や企業の人事担当者との意見交換会を開催し、市内における男女共同参画の現状や課題を把握し計画に反映した。</p> <p>3 男女共同参画推進事業の実施 (1) 男女共同参画週間啓発事業の実施 講演会・PRカード配布、パネル展示等 (2) 市職員研修「イクボス研修」 (3) 高校生のための人権教室 桜坂高校（1～3学年）で実施 (4) 男女共同参画・多様な視点からの防災実践講座の実施 (5) 出前講座「仕事と介護の両立セミナー」の実施 (6) 男女共同参画便り「ともに」年3回発行</p> <p>4 女性の人材育成や能力向上のための各種セミナーの実施 (1) 女性人材育成セミナー「開運！ラッキー☆ウーマン」 (2) 石巻市男女共創セミナー「なりたい自分になるために」 (3) 女性起業家育成セミナー「Eyes for Future by ランコム」※NPO・企業と共催 (4) 石巻市女性人材リストの整備、新規登録者の募集</p> <p>5 DV予防啓発講座等の実施 (1) 被災地におけるDV予防啓発講座の実施（2回）※宮城県主催 (2) 東日本大震災による女性のための面接相談事業の実施※内閣府主催</p>																								
成果		<p>庁内において審議会等の女性の登用促進を図り、女性人材リストの活用を呼びかけた。また、各種セミナーにおいて、女性人材リストの登録の呼び掛けを行った。 男女共同参画基本計画（第2次）において、庁内の審議会等の女性委員割合目標値40%だったが、平成28年度実績は26.3%だった。女性人材リストの登録者は、昨年より12人増え145人となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標：審議会等の女性委員の割合</th> <th rowspan="2">女性人材リスト 登載者数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>40.0%</td> <td>25.5%</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>40.0%</td> <td>25.5%</td> <td>137人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>40.0%</td> <td>26.3%</td> <td>145人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト 登載者数	目標値	実績等	H26	40.0%	25.5%	120人	H27	40.0%	25.5%	137人	H28	40.0%	26.3%	145人
区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト 登載者数																							
	目標値	実績等																								
H26	40.0%	25.5%	120人																							
H27	40.0%	25.5%	137人																							
H28	40.0%	26.3%	145人																							
成果に係る評価		女性人材リストの登録者は着実に増加しており、また、女性人材リスト登録者に対するフォローアップ研修を実施したことで、人材リスト登録者のスキルアップ及び意識啓発が図られた。ただし審議会等における女性委員の登用率は依然として低い状況であり、男女のあらゆる意思決定の場への共同参画が図られるよう、女性の人材育成だけでなく、市職員研修等、男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発事業を積極的に取り組む必要がある。																								
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	5,674,000	5,001,411				5,001,411																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																							
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																							
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																							
実施計画掲載ページ		P64	中 事業	男女共同参画推進費																										
事業コード		004-003-001-01127	事業名	子育てパパ育成事業																										
目的及び事業内容		本事業では、これまで育児参加の推進が進まなかった男性（父親）を対象として、体験を含めた講習会等を実施し、育児に対する男性の意識改革を図り、夫婦がともに仕事、家事、育児等を両立させる意識を醸成することで、女性の社会進出、女性の活躍促進にもつながることを目的とする。																												
取組実績		<p>市内の事業所2か所、市職員、市民を対象に、合計4回のイクメン講習会を開催した。事業実施に当たっては、助産師と連携することにより、実践的・効果的な実施を図るとともに、企業等の協力を得て、事業所において研修の一環として実施し、より多くの男性に周知することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施日</th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> <tr> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.10.14</td> <td>石巻社会福祉協議会職員</td> <td>20人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>H28.12.20</td> <td>市職員</td> <td>53人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>H29.1.19</td> <td>J A いしのまき職員</td> <td>35人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H29.3.9</td> <td>一般市民</td> <td>11人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>							実施日	対象	参加人数		男性	女性	H28.10.14	石巻社会福祉協議会職員	20人	17人	H28.12.20	市職員	53人	4人	H29.1.19	J A いしのまき職員	35人	1人	H29.3.9	一般市民	11人	7人
実施日	対象	参加人数																												
		男性	女性																											
H28.10.14	石巻社会福祉協議会職員	20人	17人																											
H28.12.20	市職員	53人	4人																											
H29.1.19	J A いしのまき職員	35人	1人																											
H29.3.9	一般市民	11人	7人																											
成果		<p>講義だけでなく、妊婦ジャケットの着用や、赤ちゃん抱っこ体験により、妊婦の大変さを実感してもらった。 参加者に実施した男性のアンケート結果から「育児への関心、関わり方の考え方が変わった」「働き盛りの男性職員にとって、家族・職場を大切に、きつかけとなる講習内容だった」等の意見をいただき、男性の意識改革が図られた。</p>																												
成果に係る評価		<p>男性の育児休業取得等の前例が少ないため、職場内の理解が乏しい場合に「パタニティハラスメント」(※1)等の新たな問題が発生している状況がある。今後も継続的に、市内事業所に対して本講習会を実施し、職場内における理解促進を図り、子育て中でも働きやすい環境づくりや、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを推進する必要がある。 一般市民を対象にした場合、男性自らの積極的な参加は乏しく、妻からの参加申込や、夫婦での参加が目立った。今後の広報方法として、夫婦での参加を積極的に呼び掛けるなど、妊婦健診等での周知を強化して行いたい。</p> <p>※1 パタニティハラスメント ：男性が育児休業を取得したり育児参加をすることに対する上司や同僚からの妨害。</p>																												
（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	300,000	300,000	300,000																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	1 項	総務管理費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()													
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()													
実施計画掲載ページ		P 64		中 事 業	男女共同参画推進費															
事業コード		004-003-001-01126		事 業 名	親になるための教育事業															
目的及び事業内容		<p>中学生を対象に父親・母親の疑似体験をすることにより、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さ、子供を産み育てることの意義を理解させる。また、自分の将来像(結婚→妊娠→出産→育児)のイメージを浮かべながら、夫婦が共に育児に関わる必要性を啓発する。</p> <p>中学生の生徒に乳幼児との触れ合いを通じて、子を産み育てることの重要性を思春期において理解させ、中長期的な観点から、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを目指すものである。</p>																		
取組実績		<p>市内の実施希望中学校11校に対し実施し、合計940人の中学生が受講した。命の誕生から成長までの講義だけでなく、生徒一人ひとりが妊婦ジャケットの着用を行い、赤ちゃん人形を抱っこした。また、各校に3～13組の親子が参加し、中学生が乳幼児とふれあう時間を設けた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校数</th> <th>生徒数(男/女)</th> <th>親子数(乳幼児数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>7校</td> <td>1,166人(571/595)</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>11校</td> <td>940人(478/462)</td> <td>104組(115人)</td> </tr> </tbody> </table>								学校数	生徒数(男/女)	親子数(乳幼児数)	H27	7校	1,166人(571/595)	/	H28	11校	940人(478/462)	104組(115人)
	学校数	生徒数(男/女)	親子数(乳幼児数)																	
H27	7校	1,166人(571/595)	/																	
H28	11校	940人(478/462)	104組(115人)																	
成 果		<p>平成27年度は1、2学年を対象に合同授業として実施したが、平成28年度は各中学校の希望学年で実施したため、参加人数は減少したものの実施校は4校増えた。</p> <p>また、累計延104組(乳幼児115人 内訳：0歳児が累計64人、1歳児が27人、2歳児が18人、3歳児が5人、4歳児が1人)の親子が参加し、乳幼児とのふれあい時間を設けたことで本事業をより実践的で効果的なものとした。</p>																		
成果に係る評価		<p>生徒に対して実施したアンケートにおいて、命の大切さ、子どもを育てることの喜びと大変さを学び、乳幼児とのふれあいを通して、命の重さを実感できたと高い評価が得られた。また、各中学校において、年間指導計画の1つの事業として位置づける中学校もあり、本事業が理解され浸透してきたとかがえる。</p> <p>また、生徒だけでなく参加した母親からも、「役に立ててうれしい」、「同世代の子どもとしか関わる機会がなかったため、親子共に新鮮で勉強になった」、「地域社会とのつながりが持てた」等と、評価を得ていることから、今後も継続していく必要がある。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	1,500,000		1,500,000		1,500,000															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 33		小 事 業	国際交流推進費			
事業コード		002-003-001-00585		事 業 名	チビタベッキア市との姉妹都市交流事業			
目的及び事業内容		<p>仙台藩主の使節として、支倉常長が1615年10月18日にイタリア・チビタベッキア市に上陸した歴史的な関係をきっかけに、昭和46年(1972年)10月12日に姉妹都市の盟約を締結している。</p> <p>先人の偉業を後世に伝えるとともに、両国との交流を深めながら国際的な人材育成を目的としている。</p> <p>また、新石巻市として平成25年7月8日に締結した交流事業覚書に基づき、チビタベッキア市と本市における交流事業を実施する。</p>						
取組実績		<p>交流事業覚書(H25.7.8締結)に基づき、平成29年度からの高校生海外研事業を実現するために、チビタベッキア市へ訪問し、事前協議を行なった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前協議訪問日程 平成29年1月23日～28日(4泊6日) アントーニオ・コッツォリーノ チビタベッキア市長表敬訪問 交流事業協議 <ol style="list-style-type: none"> チビタベッキア市との交流事業協議 高校生交流についてホームステイで検討 交流の際には、チビタベッキア市の施設を活用 ※8月上旬は学校が夏休みのため 学校訪問 ※2つの高校と3つの専門学校を訪問 <ol style="list-style-type: none"> ガリレオ・ガリレイ理科・言語学・音楽高等学校生徒による市内視察対応 視察先：ジャポネーゼ教会・ミケランジェロ要塞等 カラマータ高等専門学校の生徒による歓迎セレモニー・市のビデオ紹介・日本の歌などの披露 日本大使館訪問 <ol style="list-style-type: none"> 対応者：山内次席公使 大使館内の視察実施の調整 ※今後、高校生の海外研修事業の日程等が決定したい調整 想定される高校生交流事業の視察場所確認 						
成 果		<p>チビタベッキア市や高等学校側等と協議を行い、青少年交流事業を8月上旬に実施することで合意した。さらに、チビタベッキア市側からの提案でホームステイを行うこととなった。</p> <p>学校訪問では、各学校とも盛大な歓迎と現地の高校生が本事業参加の意欲があり、本市の高校生との交流を期待できるものとなった。</p>						
成果に係る評価		<p>積極的に国際交流する機会を提供することで、本市と世界の架け橋となる人材を育成し、地域の活性化に繋がると期待できる。</p> <p>ただし、言語の問題や文化・習慣が異なるため、スケジュールの調整に課題がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,997,708		1,997,708					1,997,708

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P.32		小 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00018		事 業 名	温州市との友好都市交流事業				
目的及び事業内容	両市は、平和友好・平等互恵・長期安定・相互信頼の4原則に基づき、両市の友好関係を一層深めるため、文化・教育・スポーツなどの各分野において交流を行う。また、両市間の交流を図るなかで、異なる文化や価値観を理解し、友好都市としての信頼関係を築いていく。							
取 組 実 績	<p>「2007年から2016年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」の期限に伴い、2017年からの友好交流計画に関する議定書締結のため、8月には事前協議のため、11月には議定書締結調印式をするために温州市を訪問した。</p> <p>1 事前協議訪問日程 平成28年8月9日～12日（4泊5日） 友好交流計画に関する議定書締結協議 (1) 議定書の内容と調印式の内容等の確認 (2) 議定書の期間を2017年から2024年の8年間にすることで合意。 ※8年間とした理由 平成17年の合併に伴い、議定書を新たに取り交わしたため、5年ごと実施する記念事業と2年間のスリが生じていた。本議定書を締結するうえで、2024年に開催予定の友好都市締結40周年記念事業と合わせることにした。 (3) 温州市関係者との意見交換 (4) 市内視察</p> <p>2 「2017年から2024年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」締結調印式訪問日程 平成28年11月16日～20日（4泊5日） ○調印式 本市行政訪問団 11名 2017年から2024年の8年の期間で議定書を締結</p>							
成 果	「2017年から2024年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」を締結をしたことにより、今後の温州市との、経済、文化、スポーツ、教育及び観光関係等の交流促進につなげられる。また、議定書締結後の交流として、第3回復興マラソンへ温州市側からの選手派遣を予定されている。							
成果に係る評価	議定書締結により、相互の研修生の派遣、文化・スポーツ及び石巻専修大学と温州大学の友好交流のほかには本市への観光客誘致の推進等が図られる。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,949,202		4,949,202					4,949,202

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																
	1 項	総務管理費		第 節			(2)	地域の方でみんなで守る																
	11 目	国際交流費		()			(1)	地域コミュニティの再生支援																
実施計画掲載ページ	P.136		中 事 業	国際交流推進費																				
事業コード	001-201-004-00307		事 業 名	外国人相談窓口開設事業																				
目的及び事業内容	本市に暮らす外国人のための相談窓口を設置し、市政の情報提供、専門相談機関の紹介等を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。 中国語、韓国語、英語、タガログ語の4カ国語に対応する外国人相談窓口を毎週、定期的に開設している。																							
取 組 実 績	<p>【開設状況】 月曜日：英語・タガログ語 火曜日：中国語 水曜日：韓国語 ※左記の曜日にそれぞれ1名の外国人通訳が対応</p> <p>【開設場所】 石巻市復興政策部地域振興課内（市役所4階）</p> <p>【相談状況】 H28内訳：中国18件、フィリピン7件、日本5件 韓国3件、ベトナム1件、ブラジル1件 オーストラリア1件 計36件</p> <table border="1"> <tr> <td>実施年度</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>46件</td> <td>39件</td> <td>36件</td> </tr> </table> <p>【内容】 ・行政手続き（国民健康保険、子育て・教育関係、各種証明書の申請など） ・被災後の生活状況 ・生活に係る悩み相談</p> <p>※市内在住外国人の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>年 度</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>756人</td> <td>843人</td> <td>1,012人</td> </tr> </table>								実施年度	H26	H27	H28	相談件数	46件	39件	36件	年 度	H26	H27	H28	人 数	756人	843人	1,012人
実施年度	H26	H27	H28																					
相談件数	46件	39件	36件																					
年 度	H26	H27	H28																					
人 数	756人	843人	1,012人																					
成 果	外国人住民が抱える、証明書発行・銀行手続き、公営住宅申込み、病院手配、パスポート更新、税金、生活不安等の相談、情報提供、各種関係機関への対応を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進が図られた。																							
成果に係る評価	本市在住の外国人が安心・安全に暮らせるように、生活支援的な相談や心の相談等に対して、関係機関・部署との連携を図りながら丁寧な対応をしていく必要がある。																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	702,450		702,450					702,450																

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																								
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る																								
	11 目	国際交流費		()		(4)	多文化共生社会の構築																								
実施計画掲載ページ	P137		中 事 業	国際交流推進費																											
事業コード	001-201-004-00308		事 業 名	日本語教室等開設事業																											
目的及び事業内容	<p>外国人住民が安心して暮らせる地域づくりのため、外国人住民及び日本人住民の相互理解を図り多文化共生社会を推進するとともに、言葉の壁によるコミュニケーション不足の解消を図ることを目的とする。</p> <p>事業内容においては、日本語の学習支援として日本語教室を開催する団体に補助金を交付するとともに、日本文化や風習、本市で暮らす上で必要な基本的な知識の向上をテーマに市内居住の外国人及び日本人が参加できる講座「じゃばNeeds塾」を実施する。</p>																														
取組実績	<p>1 外国人のための日本語支援教室への補助金交付</p> <p>(1)日本語支援教室（中央公民館）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>32人</td> <td>12カ国</td> <td>39回</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>39人</td> <td>13カ国</td> <td>41回</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>34人</td> <td>14カ国</td> <td>40回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)日本語支援教室（みなと荘）平成28年10月23日開講</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習者数</th> <th>出身国</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>18人</td> <td>ベトナム</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> <p>クリスマス交流会：日本語教室受講生、日本人配偶者、留学生など外国人が一同に介して開催。日本語支援教室以外に外国人向けの日本料理教室や外国人を講師とした多国籍料理の教室を実施。</p> <p>2 「じゃばNeeds塾」の開催（全4回）（16カ国）</p> <p>参加者の国籍：ベトナム、中国、インドネシア、フィリピン、ペルー、タイ、台湾、オーストラリア、韓国、ポリビア、マレーシア、イギリス、ウクライナ、アメリカ、ブラジル、日本</p> <p>第1回 36人 ゆかたの着付け教室 第2回 46人 石巻地域で暮らす外国人のための地震・津波防災研修会 第3回 30人 おせち料理と日本の食事マナー&持ち寄りパーティー 第4回 25人 リズム体操&郷土料理教室 計 137人</p>								学習者数	出身国数	開講回数	H26	32人	12カ国	39回	H27	39人	13カ国	41回	H28	34人	14カ国	40回		学習者数	出身国	開講回数	H28	18人	ベトナム	10回
		学習者数	出身国数	開講回数																											
H26	32人	12カ国	39回																												
H27	39人	13カ国	41回																												
H28	34人	14カ国	40回																												
	学習者数	出身国	開講回数																												
H28	18人	ベトナム	10回																												
成 果	<p>本市に住む外国人のための「日本語支援教室」では、ベトナム人技能実習生の要望に応え、みなと荘教室を追加開講したと共に、日本語教室以外にもクリスマス交流会、日本料理教室及び多国籍料理教室等の場を設け交流推進に寄与した。</p> <p>また、「じゃばNeeds塾」を実施し、生活をする上で必要な知識、日本文化や風習を学びながら、16カ国の受講生が互いに交流を図るにより、相互の理解を深めることができた。</p>																														
成果に係る評価	<p>「日本語支援教室」、「じゃばNeeds塾」においては、今年度から技能実習生の参加が多数見られ、多文化による交流の推進を図ることができた。</p> <p>今後も、本市に住む外国人住民が住みやすい多文化共生社会へ近づきよう、翌年度も両事業を継続して実施する。</p>																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	337,465	337,465	52,000			285,465																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 4 章	復興計画	()																																																						
	1 項	総務管理費		第 6 節		()																																																						
	14 目	交通安全対策費		(1)		()																																																						
実施計画掲載ページ	P87		中 事 業	交通安全対策費																																																								
事業コード	004-006-001-00002		事 業 名	交通安全推進事業																																																								
目的及び事業内容	<p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、市民自身による交通事故防止に向けた取り組みを推進する。</p>																																																											
取組実績	<p>各種交通安全運動として下記の事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事 業 名</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月上旬</td> <td>新入生児童に対する交通事故防止</td> <td>ランドセルカバー、黄色い帽子の配布</td> </tr> <tr> <td>6～15</td> <td>春の交通安全運動</td> <td>広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 市ホームページ掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>7 21～8/20</td> <td>夏の交通事故防止運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>9 21～30</td> <td>秋の交通安全運動</td> <td>広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 市ホームページ掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>石巻市高齢者交通安全大会</td> <td>高齢者の交通安全と飲酒運転根絶に向けた啓発活動</td> </tr> <tr> <td>10 1～1/31</td> <td>夕暮れ時の交通事故防止運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>11 17</td> <td>第47回宮城県交通安全県民大会</td> <td>県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現</td> </tr> <tr> <td>12 1～3/31</td> <td>冬の安全運転1・2・3運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>12 15～31</td> <td>年末の交通事故防止運動</td> <td>交通指導員等による街頭指導</td> </tr> </tbody> </table> <p>飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事 業 名</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 6～15</td> <td>春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td> <td>市報掲載による広報 市ホームページ掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>5 22</td> <td>第10回宮城県飲酒運転根絶県民大会</td> <td>飲酒運転根絶に関する意識を高める大会</td> </tr> <tr> <td>9 21～30</td> <td>秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td> <td>市報掲載による広報 市ホームページ掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>12 16～28</td> <td>飲酒運転根絶広報</td> <td>市役所2階電子掲示板による広報</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>年末の飲酒運転根絶キャンペーン</td> <td>市内28店舗を戸別訪問</td> </tr> <tr> <td>2 16～28</td> <td>飲酒運転根絶広報</td> <td>市役所2階電子掲示板による広報</td> </tr> <tr> <td>3 16～31</td> <td>飲酒運転根絶広報</td> <td>市役所2階電子掲示板による広報</td> </tr> </tbody> </table>						月 日	事 業 名	事 業 内 容	4 月上旬	新入生児童に対する交通事故防止	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布	6～15	春の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 市ホームページ掲載による広報	7 21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報	9 21～30	秋の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 市ホームページ掲載による広報	30	石巻市高齢者交通安全大会	高齢者の交通安全と飲酒運転根絶に向けた啓発活動	10 1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報	11 17	第47回宮城県交通安全県民大会	県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現	12 1～3/31	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報	12 15～31	年末の交通事故防止運動	交通指導員等による街頭指導	月 日	事 業 名	事 業 内 容	4 6～15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報掲載による広報 市ホームページ掲載による広報	5 22	第10回宮城県飲酒運転根絶県民大会	飲酒運転根絶に関する意識を高める大会	9 21～30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報掲載による広報 市ホームページ掲載による広報	12 16～28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報	22	年末の飲酒運転根絶キャンペーン	市内28店舗を戸別訪問	2 16～28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報	3 16～31	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報
	月 日	事 業 名	事 業 内 容																																																									
4 月上旬	新入生児童に対する交通事故防止	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布																																																										
6～15	春の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 市ホームページ掲載による広報																																																										
7 21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																										
9 21～30	秋の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 市ホームページ掲載による広報																																																										
30	石巻市高齢者交通安全大会	高齢者の交通安全と飲酒運転根絶に向けた啓発活動																																																										
10 1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																										
11 17	第47回宮城県交通安全県民大会	県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現																																																										
12 1～3/31	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報																																																										
12 15～31	年末の交通事故防止運動	交通指導員等による街頭指導																																																										
月 日	事 業 名	事 業 内 容																																																										
4 6～15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報掲載による広報 市ホームページ掲載による広報																																																										
5 22	第10回宮城県飲酒運転根絶県民大会	飲酒運転根絶に関する意識を高める大会																																																										
9 21～30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報掲載による広報 市ホームページ掲載による広報																																																										
12 16～28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報																																																										
22	年末の飲酒運転根絶キャンペーン	市内28店舗を戸別訪問																																																										
2 16～28	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報																																																										
3 16～31	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報																																																										
成 果	<p>春季及び秋季の交通安全運動のほか、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止を推進し、飲酒運転根絶に向け市民に対し交通安全意識の高揚が図られ、安全安心な交通社会への実現に寄与した。</p>																																																											
成果に係る評価	<p>交通安全指導員による街頭指導46回、学校等での交通安全教室64回を開催し、交通安全意識の高揚を図ることができた。</p> <p>また、平成28年9月の交通死亡事故以来、各地区で交通死亡事故ゼロを継続しており、前年と比べて交通事故発生件数は減少した。</p> <p>しかし、飲酒運転根絶に向けた活動を実施しているが、根絶には至っていない。飲酒運転根絶及び交通事故防止の達成に向け、啓発活動を重点に事業を推進していく必要がある。</p>																																																											
(単位：円)																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	2,400,000	2,400,000	250,000			2,150,000																																																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																					
	1 項	総務管理費		第 節			()																																					
	16 目	情報プラザ運営費		()			()																																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報プラザ関係費																																								
事業コード			事 業 名	情報プラザ運営事業																																								
目的及び事業内容		市民のコンピュータリテラシーの習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する																																										
取 組 実 績		<p>1 パソコン初心者への施設利用者に対して、積極的にマンツーマン指導や助言を行い、一般利用者（市民）がより利用しやすい環境整備を図った。</p> <p>2 パソコン初心者～中級者を対象に、恒常的にパソコンセミナーを開催し、コンピュータリテラシーの向上を図った。</p> <p>3 インターネットサービスプロバイダー事業により、市民のインターネット環境の充実が図られた。</p> <p>4 放送大学宮城学習センター石巻視聴学習室（再視聴施設）を設置することにより、学びたい人すべてが、いつでも学べる環境を提供した。</p>																																										
成 果		<p>市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設・サービスを提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民の I C T 環境の整備が図られた。</p> <p>主な情報プラザ利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCセミナー等利用者</td> <td>1,146人</td> <td>1,269人</td> <td>1,901人</td> </tr> <tr> <td>うち 情報プラザ主催事業</td> <td>840人</td> <td>1,043人</td> <td>1,597人</td> </tr> <tr> <td>うち その他主催事業</td> <td>306人</td> <td>226人</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>インターネットサービスプロバイダ利用者</td> <td>208人</td> <td>197人</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>うち 一般利用</td> <td>125人</td> <td>114人</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>うち 公用等</td> <td>83人</td> <td>83人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>ネットデッキ利用者（インターネット）</td> <td>482人</td> <td>477人</td> <td>634人</td> </tr> <tr> <td>放送大学利用者</td> <td>155人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	H26	H27	H28	PCセミナー等利用者	1,146人	1,269人	1,901人	うち 情報プラザ主催事業	840人	1,043人	1,597人	うち その他主催事業	306人	226人	304人	インターネットサービスプロバイダ利用者	208人	197人	181人	うち 一般利用	125人	114人	99人	うち 公用等	83人	83人	82人	ネットデッキ利用者（インターネット）	482人	477人	634人	放送大学利用者	155人	0人	4人
区分	H26	H27	H28																																									
PCセミナー等利用者	1,146人	1,269人	1,901人																																									
うち 情報プラザ主催事業	840人	1,043人	1,597人																																									
うち その他主催事業	306人	226人	304人																																									
インターネットサービスプロバイダ利用者	208人	197人	181人																																									
うち 一般利用	125人	114人	99人																																									
うち 公用等	83人	83人	82人																																									
ネットデッキ利用者（インターネット）	482人	477人	634人																																									
放送大学利用者	155人	0人	4人																																									
成果に係る評価		インターネットサービスプロバイダ事業については、一般利用者数の減少が続いている。市内のほぼ全域に光回線を利用できる環境が整備されたことにより、アナログ回線を使ったダイヤルアップ接続は一定の役目を終えたものと思料され、また、民間の光コラボレーション事業者が、割安な光回線とスマートフォンのセット割引等の新しいサービスを展開していることもあり、今後の利用者増は見込むことができないことから、事業の見直しが必要である。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	46,794,000	45,247,388			1,765,100	43,482,288																																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()	
	17 目	蛇田支所等複合施設建設費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()	
実施計画掲載ページ		P15	中 事 業	蛇田支所等複合施設建設事業費				
事業コード		001-003-002-01104	事 業 名	蛇田支所等複合施設整備事業				
目的及び事業内容		現在の蛇田支所と蛇田公民館は、狭い中で老朽化が進み、駐車場が不足している現状である。また、蛇田地区は人口が急増しており、将来を見据えた新たな公共サービスの拠点が必要となっていることから、蛇田支所と蛇田公民館からなる複合施設として整備するもの。						
取 組 実 績		<p>地域住民や公民館利用者等による市民ワークショップを開催し、住民の意見や要望等を取り入れた基本計画を策定した。</p> <p>市民ワークショップ等開催状況</p> <p>平成28年9月10日 蛇田地区行政委員区長会役員等地区住民、公民館利用者協議会役員等公民館利用者、高齢者団体、NPO、子ども・子育て関係団体、社会福祉関係、障害者団体役員等 出席者 20名</p> <p>平成28年10月6日 同 出席者19名</p> <p>平成29年2月18日 蛇田地区行政委員区長、蛇田公民館利用団体、市民ワークショップ参加者 出席者 33名</p> <p>平成29年2月25日 蛇田地区住民 29名</p>						
成 果		<p>蛇田支所等複合施設整備事業の進捗が図られた。</p> <p>なお、複合施設の主な機能と役割は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蛇田地区における協働のまちづくりの中核施設 ・地域に学び地域に生かす学習施設 ・安らぎが感じられる施設 ・防災機能を有する施設 <p>また、主な年次計画は次のとおりである。</p> <p>主な年次計画</p> <p>平成28年度 基本計画</p> <p>平成29年度 基本設計・実施設計</p> <p>平成30年度 建設工事</p> <p>平成31年度 建設工事・供用開始</p>						
成果に係る評価		整備予定地は仮設恵み野団地として利用されているが、石巻市被災者自立再建支援プログラムでは平成29年度中に移転・撤去される見通しとなっており、今後も関係部との連携を図りながら、基本計画に基づく事業を着実に進捗させる必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,700,000	5,616,000				5,616,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																
	1 項	総務管理費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																
	27 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																																
実施計画掲載ページ		P 34	中 事 業		非核平和都市推進費																																		
事業コード		002-003-001-00022	事 業 名		非核平和推進人材育成事業																																		
目的及び事業内容		市の将来を担う中学生を対象に、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶため、広島市が主催する平和記念式典等に参加する中学生派遣事業及び市内中学校において原爆被爆者を講師とした被爆者体験講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																					
取組実績		<p>1 非核平和推進人材育成事業の実施</p> <p>(1) 平和記念式典等への中学生派遣事業 研修先：広島市 日 時：平成28年8月5日（金）～7日（日） 市内中学生6名 研修内容：平和記念式典への参加、被爆体験者講話、平和記念資料館視察等を行った。</p> <p>(2) 被爆体験者講話 参加者：門脇中学校1、2年生141名 日 時：平成28年11月21日（月）午後2時～午後4時 内 容：（公財）広島平和文化センター被爆体験証言者の李 鐘根氏を講師に招き、「私の被爆体験」をテーマとして、講演会を開催した。</p>																																					
成 果		<p>市の将来を担う中学生が、広島市が主催する平和記念式典等への参加や、被爆体験者講話を通して平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：研修参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100 %</td> <td>70</td> <td>桃生中学校 1年生</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100 %</td> <td>106</td> <td>飯野川中学校 1～3年生</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100 %</td> <td>141</td> <td>門脇中学校 1、2年生</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	H26	8	8	100 %	70	桃生中学校 1年生	H27	6	6	100 %	106	飯野川中学校 1～3年生	H28	6	6	100 %	141	門脇中学校 1、2年生
区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																			
	成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校																																		
	目標値	実績値																																					
H26	8	8	100 %	70	桃生中学校 1年生																																		
H27	6	6	100 %	106	飯野川中学校 1～3年生																																		
H28	6	6	100 %	141	門脇中学校 1、2年生																																		
成果に係る評価		平和記念式典等派遣事業参加者は、広島市が主催する平和記念式典等への参加を通して、平和の尊さを学び、研修終了後は、自校の文化祭等で研修内容を発表し、広く啓発活動を行った。また、被爆体験者の講話により、戦争の恐ろしさ、悲惨さを学ぶ機会を提供した。本事業を通して、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成に資することができた。今後も平和の尊さ、戦争の悲惨さを後世に伝えるため、継続して本事業を実施し、恒久平和に貢献できる人材の育成を図っていく必要がある。																																					
（単位：円）																																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																		
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
	1,311,000		1,256,426					1,256,426																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節			(3)	減災まちづくりの推進
	28 目	東日本大震災関係費		()			(3)	新エネルギー等の活用
実施計画掲載ページ		P 160	中 事 業		スマートコミュニティ推進事業費			
事業コード		001-303-001-00946	事 業 名		スマートコミュニティ推進事業			
目的及び事業内容		震災復興基本計画重点プロジェクトの1つとして位置付けられ「災害に強く環境にやさしいまちづくり」の実現を図るため、再生可能エネルギーやICTを活用し有事の際に避難所となる公共施設に導入された太陽光発電設備、蓄電池をエネルギー管理システムで総合管理し、地域のエネルギー情報を見える化するするとともに、次代を担う子どもたちへの環境意識の醸成を図る。						
取組実績		<p>1 機器整備 (1) 北上中学校及び牡鹿中学校の2校にBEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）を整備 (2) 環境にやさしく防災機能強化（有事における非常用電源の供給）の移動手段として公用車（電気自動車）を導入（河南総合支所へ配備）</p> <p>2 スクールデマンドレスポンス（スクールDR）の実施 (1) 平成27年度の先行実施に引き続き、市内小中高校計28校が参加した取組みに拡大 (2) これまでに蓄積した各施設のエネルギー情報の分析結果を基にしたPDCAサイクルを実践し、持続性のある取組みとするための支援を実施</p> <p>3 住民相談会の実施 新蛇田地区復興公営住宅に整備したHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）をIoT機器として利活用してもらうため、入居者の方々を対象とした取扱いに関する相談会を実施</p>						
成 果		<p>平成27年度において資源エネルギー庁のスマートコミュニティ導入促進事業補助金による機器整備が完了し、平成28年度からCEMS（地域エネルギー管理システム）の本格運用を開始したことに伴い、各施設所管課においてもエネルギーの利用状況や蓄電池残量が把握可能な環境が整備され、再生可能エネルギーの有効活用と有事における防災機能の強化が図られ、「災害に強く環境にやさしいまち」の実現に向けた環境整備が図られた。 また、スクールDRの取組により、次代を担う子どもたちの環境意識の醸成が図られた。</p> <p>【導入実績】 (1) BEMSを北上中、牡鹿中に整備 ⇒ 平成29年度からスクールDRに参加 (2) みやぎ環境交付金を活用し、公用車（電気自動車）を河南総合支所へ配備 ⇒ 環境にやさしく有事における非常用電源の供給（移動式）が可能となり、防災機能の強化が図られた。</p>						
成果に係る評価		機器が整備された公共施設のエネルギー情報が集約され一元管理が可能となったため、各施設所管課において再生可能エネルギーの発電状況や蓄電池の状況等が把握でき、節電対策や有事の際の避難所運営に関する情報収集・提供等が迅速に行え、市全体の防災機能の強化に繋げることができた。また、スクールDRの取組みや電気自動車の導入により環境意識の醸成や防災意識の向上にも繋がるため、事業を継続する必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	6,459,453		6,194,630		3,244,597			2,950,033

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P 137	中 事 業	地域自治システム関係費			
事業コード		001-201-005-00310	事 業 名	地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕			
<p>目的及び事業内容</p> <p>平成22年、地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政が協働のまちづくりをつくるため地域自治システムの構築を進めていた。しかし、震災後、地域コミュニティが崩壊した中で、地域自治システムを進めるには難しい地域もあることから、被害が少なかった地域において住民からの要請のあった地域から進めている。</p>							
<p>取組実績</p> <p>地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。 また、地域自治システム構築の推進に当たっては、住民はもとより行政も協働への理解を深める必要があるため職員研修を実施した。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 住民自治組織交付金 河南地区 河南地域住民自治協議会 交付額：2,368,000円 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 交付額：1,380,130円 桃生地区 ものう夢ネットワーク 交付額：1,198,941円 (計4,947,071円)</p> <p>2 地域自治システム職員研修会 ー平成28年度「これからの協働のまちづくり」職員研修会ー 実施日：平成29年3月22日 研修講師：I I H O E 「人と組織と地球のための国際研究所」代表者 川北秀人 研修内容：課長補佐級以上の職員を対象とし、資料をもとにした講話 演題 「自治を回復し、まち・むらの力で解決するために ～協働と小規模多機能自治のすすめ～」 参加人数：53人</p>							
<p>成 果</p> <p>河南地域住民自治協議会、山下地区協働のまちづくり協議会、平成27年度に発足したもののう夢ネットワークにおいては、会の運営や地域課題を解決する取組みが活発に行われた。 職員研修については、出席者に対するアンケートを集約した結果、これからの業務を遂行する上で、「とても参考になった・少し参考になった」とする回答が97.5%であった。</p>							
<p>成果に係る評価</p> <p>現代社会における多様なニーズが求められている中で、行政サービスだけでは解決できない地域の諸問題に対しては、地域住民自らが主体となって問題解決へ向け取り組み、地域の特性を活かした個性ある地域づくりを進める必要がある。 しかし、地域自治システムの構築に向けては、自治組織が立ち上がっていない地区が多く、住民の自主的な意識の醸成を図るよう更なる普及啓発が必要になっている。 また、職員研修については、「協働のまちづくり」を推進する上で、大変有意義であることから、継続して実施する必要がある。</p>							
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,194,000	5,150,686			5,150,686		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																																				
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る																																																																																				
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																																				
実施計画掲載ページ		P 135	中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																																																							
事業コード		001-201-003-00305	事 業 名	コミュニティ形成支援補助事業〔復興基金〕																																																																																							
<p>目的及び事業内容</p> <p>震災の影響で町内会等による祭りなどのイベント等の開催が自粛され、コミュニケーションづくりの場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業やイベントなどの事業に助成を行い、町内会組織等の再生と仮設住宅団地及び復興公営住宅入居者のコミュニケーションづくりやコミュニティの育成促進を図る。</p>																																																																																											
<p>取組実績</p> <p>市内に設立されている町内会等の住民自治組織に対し、1団体年10万円を限度として補助金を交付した。また、復興公営住宅の入居者と周辺住民との交流会等に1復興公営住宅につき1回限り10万円を限度とし、補助金を交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">一般分</th> <th colspan="4">復興公営住宅分</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="2">件数</th> <th rowspan="2">H28 補助金交付額</th> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="2">件数</th> <th rowspan="2">H28 補助金交付額</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>93件</td> <td>105件</td> <td>10,043,348円</td> <td>石巻</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>499,964円</td> </tr> <tr> <td>河北</td> <td>15件</td> <td>14件</td> <td>1,400,000円</td> <td>河北</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>385,824円</td> <td>河南</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>25件</td> <td>29件</td> <td>2,713,132円</td> <td>計</td> <td>8件</td> <td>5件</td> <td>499,964円</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>10件</td> <td>8件</td> <td>562,750円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>169,444円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>343,962円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>149件</td> <td>167件</td> <td>15,618,460円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								一般分				復興公営住宅分				地区名	件数		H28 補助金交付額	地区名	件数		H28 補助金交付額	H27	H28	H27	H28	石巻	93件	105件	10,043,348円	石巻	6件	5件	499,964円	河北	15件	14件	1,400,000円	河北	1件	0件	0円	雄勝	2件	5件	385,824円	河南	1件	0件	0円	河南	25件	29件	2,713,132円	計	8件	5件	499,964円	桃生	10件	8件	562,750円					北上	3件	2件	169,444円					牡鹿	1件	4件	343,962円					計	149件	167件	15,618,460円				
一般分				復興公営住宅分																																																																																							
地区名	件数		H28 補助金交付額	地区名	件数		H28 補助金交付額																																																																																				
	H27	H28			H27	H28																																																																																					
石巻	93件	105件	10,043,348円	石巻	6件	5件	499,964円																																																																																				
河北	15件	14件	1,400,000円	河北	1件	0件	0円																																																																																				
雄勝	2件	5件	385,824円	河南	1件	0件	0円																																																																																				
河南	25件	29件	2,713,132円	計	8件	5件	499,964円																																																																																				
桃生	10件	8件	562,750円																																																																																								
北上	3件	2件	169,444円																																																																																								
牡鹿	1件	4件	343,962円																																																																																								
計	149件	167件	15,618,460円																																																																																								
<p>成 果</p> <p>住民自治組織等が主体となって様々なイベントが開催され、住民同士の交流の機会となり親睦が深められた。補助金利用団体からは「震災による人口減少等が原因で資金不足に陥っていたが、補助金の活用により地域の恒例行事を再開・維持できた」等の報告が寄せられた。 さらに、復興公営住宅入居者と周辺住民自治組織の住民との交流活動も実施され、復興公営住宅入居者が既存の町内会等へスムーズに編入するためのコミュニケーション機会を創出することができた。 交付件数は、広報や市のホームページ等での周知、町内会連合会総会、行政委員会、区長会等の会議においての説明や視覚的にわかりやすいチラシを作成し配布したことにより、平成27年度よりもさらに15件増となった。 主な補助金交付事業内容 ・夏まつり(盆踊り)等 ・レクリエーション大会 ・清掃活動等の地域づくり ・植栽活動 ・羊煮会、敬老行事 ・スポーツ大会 ・親睦旅行 ・世代間交流事業 ・町内会合同の交流会 ・復興住宅入居者歓迎会</p>																																																																																											
<p>成果に係る評価</p> <p>毎年継続的に補助金を交付してきたことで、制度の存在も住民自治組織に浸透してきている。地域コミュニティの活動を休止している住民自治組織が依然としてあるものの、本補助金を活用することにより積極的に交流活動を再開・実施することができ、住民同士のコミュニケーションが推進された。 また、復興公営住宅は全く別の地域からの入居者が多く、既存住民自治組織の住民とのコミュニケーションを図る機会を積極的に設けていく必要があるが、交付金の活用はその一助となった。 しかし、この補助制度を知っていても利用していない自治会も多いことから、今後はいかに利用しやすいようなフォローをしていくかが課題となっている。 コミュニティの形成には持続的な活動が不可欠であること、今後も新たな復興公営住宅への入居が進むことを鑑み、引き続きコミュニティ活動への支援を継続する必要がある。</p>																																																																																											
(単位：円)																																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																					
	19,000,000	16,118,424	499,964		15,618,460																																																																																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																																																									
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る																																																																																																									
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																																																									
実施計画掲載ページ	P136		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																																																																												
事業コード	001-201-003-00306	事 業 名	集会所等コミュニティ施設復旧整備事業〔復興交付金〕・〔復興基金〕																																																																																																													
目的及び事業内容	<p>【目的】 市民と行政の協働のまちづくりを図る。</p> <p>【内容】 東日本大震災により被災した集会所の新築、改築、増築、改修事業への助成や集会所として使用する目的である既存建物・土地の取得事業への助成</p>																																																																																																															
取組実績	<p>○被災集会所の新築及び改修事業（石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金）</p> <p>【新築 7件】 石巻2件、雄勝1件、牡鹿4件</p> <p>【改修 3件】 石巻2件、河南1件</p> <p>【備品23件】 新築集会所7件、復興公営住宅集会所16件</p> <p>○被災集会所の新築事業等（被災地域交流拠点施設整備事業補助金）</p> <p>【新築 5件】 石巻2件、雄勝1件、桃生1件、北上1件</p> <p>【交流活動1件】 雄勝1件</p>																																																																																																															
成 果	<p>地域住民活動の拠点となる地区集会所を整備することにより、震災により失われたコミュニティの再生と新たなコミュニティ組織づくりの推進が図られた。</p> <p>○石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折浜集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>19,407,600円</td> <td>19,288,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>住吉会館（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>30,172,100円</td> <td>30,016,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>高木東会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>285,120円</td> <td>285,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>大瓜八津会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>2,117,948円</td> <td>2,000,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>立浜地区集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>16,756,200円</td> <td>16,751,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>北和瀬親睦会館（河南）</td> <td>改修</td> <td>241,380円</td> <td>241,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>給分浜集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,199,573円</td> <td>26,199,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>前網地区復興集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>17,672,000円</td> <td>17,660,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>小網倉清水田集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>20,124,850円</td> <td>20,000,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>大谷川浜集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>13,644,144円</td> <td>13,643,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>復興公営住宅集会所16件</td> <td>初期備品</td> <td>8,050,994円</td> <td>7,982,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>154,671,909円</td> <td>154,065,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○被災地域交流拠点施設整備事業補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>タイプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荻浜集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>24,997,680円</td> <td>24,997,680円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>不動町町内会集会所（石巻）</td> <td>新築</td> <td>31,000,000円</td> <td>25,000,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>荒地区集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,457,560円</td> <td>22,832,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>波板地域交流センター（雄勝）</td> <td>交流活動</td> <td>1,023,831円</td> <td>947,420円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宗全山集会所（桃生）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>17,535,949円</td> <td>17,510,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>にっこり集会所（北上）</td> <td>新築</td> <td>25,000,000円</td> <td>25,000,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>126,015,020円</td> <td>116,287,100円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	折浜集会所（石巻）	新築・初期備品	19,407,600円	19,288,000円	上限	住吉会館（石巻）	新築・初期備品	30,172,100円	30,016,000円	上限	高木東会館（石巻）	改修	285,120円	285,000円	上限	大瓜八津会館（石巻）	改修	2,117,948円	2,000,000円	上限	立浜地区集会所（雄勝）	新築・初期備品	16,756,200円	16,751,000円	上限	北和瀬親睦会館（河南）	改修	241,380円	241,000円	上限	給分浜集会所（牡鹿）	新築・初期備品	26,199,573円	26,199,000円	上限	前網地区復興集会所（牡鹿）	新築・初期備品	17,672,000円	17,660,000円	上限	小網倉清水田集会所（牡鹿）	新築・初期備品	20,124,850円	20,000,000円	上限	大谷川浜集会所（牡鹿）	新築・初期備品	13,644,144円	13,643,000円	上限	復興公営住宅集会所16件	初期備品	8,050,994円	7,982,000円	上限	計		154,671,909円	154,065,000円		集会所名	事業区分	事業費	補助金額	タイプ	荻浜集会所（石巻）	新築・初期備品	24,997,680円	24,997,680円	小規模タイプ	不動町町内会集会所（石巻）	新築	31,000,000円	25,000,000円	小規模タイプ	荒地区集会所（雄勝）	新築・初期備品	26,457,560円	22,832,000円	小規模タイプ	波板地域交流センター（雄勝）	交流活動	1,023,831円	947,420円		宗全山集会所（桃生）	新築・初期備品	17,535,949円	17,510,000円	小規模タイプ	にっこり集会所（北上）	新築	25,000,000円	25,000,000円	小規模タイプ	計		126,015,020円	116,287,100円	
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																																																																																												
折浜集会所（石巻）	新築・初期備品	19,407,600円	19,288,000円	上限																																																																																																												
住吉会館（石巻）	新築・初期備品	30,172,100円	30,016,000円	上限																																																																																																												
高木東会館（石巻）	改修	285,120円	285,000円	上限																																																																																																												
大瓜八津会館（石巻）	改修	2,117,948円	2,000,000円	上限																																																																																																												
立浜地区集会所（雄勝）	新築・初期備品	16,756,200円	16,751,000円	上限																																																																																																												
北和瀬親睦会館（河南）	改修	241,380円	241,000円	上限																																																																																																												
給分浜集会所（牡鹿）	新築・初期備品	26,199,573円	26,199,000円	上限																																																																																																												
前網地区復興集会所（牡鹿）	新築・初期備品	17,672,000円	17,660,000円	上限																																																																																																												
小網倉清水田集会所（牡鹿）	新築・初期備品	20,124,850円	20,000,000円	上限																																																																																																												
大谷川浜集会所（牡鹿）	新築・初期備品	13,644,144円	13,643,000円	上限																																																																																																												
復興公営住宅集会所16件	初期備品	8,050,994円	7,982,000円	上限																																																																																																												
計		154,671,909円	154,065,000円																																																																																																													
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	タイプ																																																																																																												
荻浜集会所（石巻）	新築・初期備品	24,997,680円	24,997,680円	小規模タイプ																																																																																																												
不動町町内会集会所（石巻）	新築	31,000,000円	25,000,000円	小規模タイプ																																																																																																												
荒地区集会所（雄勝）	新築・初期備品	26,457,560円	22,832,000円	小規模タイプ																																																																																																												
波板地域交流センター（雄勝）	交流活動	1,023,831円	947,420円																																																																																																													
宗全山集会所（桃生）	新築・初期備品	17,535,949円	17,510,000円	小規模タイプ																																																																																																												
にっこり集会所（北上）	新築	25,000,000円	25,000,000円	小規模タイプ																																																																																																												
計		126,015,020円	116,287,100円																																																																																																													
成果に係る評価	被災により失われたコミュニティの再生や新たな構築のための拠点施設として重要な役割を担う地区集会所は、震災により崩壊したコミュニティの再構築等には必要不可欠であることから、今後も継続して補助を行っていく必要がある。																																																																																																															
予算の執行状況	（単位：円）																																																																																																															
予算額	271,924,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																										
		270,352,100	116,287,100	116,680,000	37,385,000																																																																																																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																												
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る																																												
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																																												
実施計画掲載ページ	P117		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																															
事業コード	001-201-002-00929	事 業 名	地域づくりコーディネート事業〔復興基金〕																																																
目的及び事業内容	住民自治組織の推薦を受けたNPO等の市民公益活動団体が、コミュニティの再生・強化を推進するために行う、住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを支援する事業に対し補助する。																																																		
取組実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度採択団体名</th> <th>事業名</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>特定非営利活動法人絆JAPAN</td> <td>人の繋がり、笑顔を育むまちづくり事業</td> <td>2,282,980円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一般社団法人石巻じちれん</td> <td>新蛇田復興公営住宅地域におけるコミュニティ形成コーディネート事業</td> <td>2,276,042円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>特定非営利活動法人雄勝まちづくり協会</td> <td>民営公民館の運営と雄勝地域コミュニティ活性化事業</td> <td>2,149,069円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>NPO法人ばんぶきんふれあい会</td> <td>住民主体型コミュニティ形成コーディネート</td> <td>2,500,000円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>一般社団法人BIGUP石巻</td> <td>包括的な地域づくりモデル事業</td> <td>2,500,000円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>上釜を愛する会</td> <td>住民主体の地域づくりサポート事業</td> <td>2,461,784円</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>NPO法人DoTankみやぎ</td> <td>渡波・万石浦地区コミュニティサポート</td> <td>2,066,598円</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>石巻復興きずな新聞舎</td> <td>新聞の発行・配布による見守り活動と共助の担い手づくり事業</td> <td>2,433,839円</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ヒガシミノ団地</td> <td>復興公営住宅入居者とその周辺地域を対象としたコミュニティ形成支援</td> <td>2,500,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>21,170,312円</td> </tr> </tbody> </table>								平成28年度採択団体名	事業名	助成額	1	特定非営利活動法人絆JAPAN	人の繋がり、笑顔を育むまちづくり事業	2,282,980円	2	一般社団法人石巻じちれん	新蛇田復興公営住宅地域におけるコミュニティ形成コーディネート事業	2,276,042円	3	特定非営利活動法人雄勝まちづくり協会	民営公民館の運営と雄勝地域コミュニティ活性化事業	2,149,069円	4	NPO法人ばんぶきんふれあい会	住民主体型コミュニティ形成コーディネート	2,500,000円	5	一般社団法人BIGUP石巻	包括的な地域づくりモデル事業	2,500,000円	6	上釜を愛する会	住民主体の地域づくりサポート事業	2,461,784円	7	NPO法人DoTankみやぎ	渡波・万石浦地区コミュニティサポート	2,066,598円	8	石巻復興きずな新聞舎	新聞の発行・配布による見守り活動と共助の担い手づくり事業	2,433,839円	9	ヒガシミノ団地	復興公営住宅入居者とその周辺地域を対象としたコミュニティ形成支援	2,500,000円	合 計			21,170,312円
	平成28年度採択団体名	事業名	助成額																																																
1	特定非営利活動法人絆JAPAN	人の繋がり、笑顔を育むまちづくり事業	2,282,980円																																																
2	一般社団法人石巻じちれん	新蛇田復興公営住宅地域におけるコミュニティ形成コーディネート事業	2,276,042円																																																
3	特定非営利活動法人雄勝まちづくり協会	民営公民館の運営と雄勝地域コミュニティ活性化事業	2,149,069円																																																
4	NPO法人ばんぶきんふれあい会	住民主体型コミュニティ形成コーディネート	2,500,000円																																																
5	一般社団法人BIGUP石巻	包括的な地域づくりモデル事業	2,500,000円																																																
6	上釜を愛する会	住民主体の地域づくりサポート事業	2,461,784円																																																
7	NPO法人DoTankみやぎ	渡波・万石浦地区コミュニティサポート	2,066,598円																																																
8	石巻復興きずな新聞舎	新聞の発行・配布による見守り活動と共助の担い手づくり事業	2,433,839円																																																
9	ヒガシミノ団地	復興公営住宅入居者とその周辺地域を対象としたコミュニティ形成支援	2,500,000円																																																
合 計			21,170,312円																																																
成 果	<ol style="list-style-type: none"> 「特定非営利活動法人絆JAPAN」住民間の交流を促進し、自主的に声掛けをするようになった。 「一般社団法人石巻じちれん」活動の支援を通じて住民間交流の促進ができた。 「特定非営利活動法人雄勝まちづくり協会」自主的に学校と連携した活動を行うなど活動を地域に還元する動きがみられた。 「NPO法人ばんぶきんふれあい会」住民ボランティアの人材の育成・掘り起しができた。 「一般社団法人BIGUP石巻」復興住宅団地会の課題を一緒に考え自主的な組織づくりの一助となった。 「上釜を愛する会」地域住民を巻き込むことで、地域について理解し考えるきっかけになった。 「NPO法人DoTankみやぎ」交流イベントを通して、人のつながりの構築ができた。 「石巻復興きずな新聞舎」新聞の配布を通して、地元ボランティアと地域住民によるコミュニケーションづくりができた。 「ヒガシミノ団地」団地会の意見調整や会計処理について支援し、団地会運営の円滑化に貢献できた。 																																																		
成果に係る評価	震災により自治会運営が困難な地域に対するサポートや復興公営住宅内のコミュニティづくり、復興公営住宅入居者と既存自治会のコミュニティづくりが進んだことは評価することができる。事業内容によっては、事業の成果がすぐに表れにくいものがあるとともに、いまだ町内会活動等を休止しているところもあるため、引き続き事業を継続していく必要がある。																																																		
予算の執行状況	（単位：円）																																																		
予算額	22,386,000	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																													
		21,170,312			21,170,312																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																													
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																													
	28 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																													
実施計画掲載ページ		P167	中 事 業	被災地域交通対策関係費																																
事業コード		002-101-005-00361	事 業 名	応急仮設住宅バス運行事業																																
目的及び事業内容		<p>応急仮設住宅で生活している被災者が、通院や買い物といった日常生活に関する移動手段確保を目的として、医療機関や商業施設を巡回するバスを、被災者の負担軽減を図るため全区間一律100円という運賃で運行するため、運行主体に対し運行費補助をしている。</p>																																		
取組実績		<p>仮設住宅入居者の日常生活における移動手段を確保するため、低廉な運賃でバスを運行している運行主体に対し運行費を補助した。</p> <p>平成28年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>主な経由地</th> <th>運行主体（補助対象）</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田</td> <td>株ミヤコーバス</td> <td>7,048,100円</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>8,189,400円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>8,362,687円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>23,600,187円</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	主な経由地	運行主体（補助対象）	補助金額	石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	株ミヤコーバス	7,048,100円	河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	8,189,400円	桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区住民バス運行協議会	8,362,687円	合計			23,600,187円									
路線名	主な経由地	運行主体（補助対象）	補助金額																																	
石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	株ミヤコーバス	7,048,100円																																	
河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	8,189,400円																																	
桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区住民バス運行協議会	8,362,687円																																	
合計			23,600,187円																																	
成 果		<p>仮設住宅入居者の減少に伴い、仮設住宅線の総利用者数は減少しているが、桃生地区では若干増加傾向にある。全区間一律100円での運行であり、通院や買い物等の生活の足として利用されており、被災者支援が図られている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>21,563人</td> <td>1,464便</td> <td>15,501人</td> <td>1,456便</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>10,068人</td> <td>726便</td> <td>9,271人</td> <td>728便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>5,842人</td> <td>960便</td> <td>5,926人</td> <td>964便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37,473人</td> <td>3,150便</td> <td>30,698人</td> <td>3,148便</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	H27		H28		利用者数	便数	利用者数	便数	石巻市内仮設住宅循環線	21,563人	1,464便	15,501人	1,456便	河北地区仮設住宅線	10,068人	726便	9,271人	728便	桃生地区仮設住宅線	5,842人	960便	5,926人	964便	合計	37,473人	3,150便	30,698人	3,148便
路線名	H27		H28																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																
石巻市内仮設住宅循環線	21,563人	1,464便	15,501人	1,456便																																
河北地区仮設住宅線	10,068人	726便	9,271人	728便																																
桃生地区仮設住宅線	5,842人	960便	5,926人	964便																																
合計	37,473人	3,150便	30,698人	3,148便																																
成果に係る評価		<p>仮設住宅入居者の移動手段が確保され、一律100円という運賃での運行により負担軽減も図られており、被災者の生活支援の一助となった。</p> <p>今後、仮設住宅からの退去が進むことで利用者が減少し、運賃収入の減少に伴い補助金が増加する見込みであるが、仮設住宅入居者の移動手段確保のため、運行は継続する必要がある。</p> <p>3路線ともに、沿線の仮設住宅の解消に伴い廃止となる予定の路線であり、現行の路線バス、住民バスの路線再編に含めて検討していく必要がある。</p>																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	23,600,187	23,600,187	23,600,187																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築
	28 目	東日本大震災関係費		()		(4)	震災記録の継承
実施計画掲載ページ		P134	中 事 業	震災広報関係費			
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名	震災記録収集整理事業【復興基金】			
目的及び事業内容		<p>震災の記録を保存し、復興への道程をデジタルアーカイブ等として後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。</p>					
取組実績		<p>1 震災記録写真、動画データ等の収集・整理</p> <p>2 被災体験談記録（オーラルヒストリー）編集事業 ・被災した市民の被災体験談（2件）をビデオカメラで撮影し保存した。また、収録した動画を被撮影者ごとに編集した。復興まちづくり情報交流館中央館にて編集した動画の上映を行った。</p> <p>3 震災関連資料のデジタル化 ・震災関連庁内文書のデジタル化（7,760件 46,052枚）を行った。</p> <p>4 震災関連パネル製作 ・震災からの復旧・復興状況に関する写真パネル（10枚）を製作した。</p> <p>5 石巻市震災復興記録写真展 (1) H28.8.5(金)～7(日) 総合運動公園（MLB CUP2016全国野球大会） (2) H28.9.17(土)・18(日) 石巻専修大学（ツール・ド・東北2016） (3) H28.10.2(日)～10(月・祝)河北総合センター「ビッグバン」（石巻市美術展） (4) H29.3.12(日) 遊楽館（防災シンポジウム） 上記のほか、各種イベントや物産展等の会場にて展示を行った。</p> <p>6 東日本大震災「石巻市のあゆみ」（記録誌）の発行 制作部数：1,000部 配布先：支援自治体、支援企業、全国都道府県立図書館、市内小・中学校等</p>					
成 果		<p>東日本大震災関連資料を収集し、デジタルデータ等により保存・整理したことで、今後の防災減災に役立つ資料の蓄積が図られた。</p> <p>収集した資料等については、復興まちづくり情報交流館や各種イベント等で展示し、市民の防災への意識の高揚及び震災の記憶の風化防止が図られた。</p> <p>また、東日本大震災「石巻市のあゆみ」の発行により、震災の経験・教訓、被災状況や復旧復興の記録等を広く発信することができた。</p>					
成果に係る評価		<p>今後も継続して復興過程を記録し、震災関連資料の収集・整理を行う必要がある。</p> <p>また、震災の風化防止と復興状況への理解を深めるため、収集資料展やパネル展等を実施し、震災伝承の取組に資するとともに、東日本大震災の経験・教訓等を後世へ伝えていく必要がある。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	11,729,400	7,308,360				7,308,360	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P164	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		002-101-003-00357	事 業 名		市報復興号発行事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災による復旧・復興の様々な情報を迅速に発信するため、市報15日号を毎月発行する。					
取組実績		<p>より多くの復旧・復興関連情報を掲載した市報を毎月1回発行した。復興まちづくり等の説明には、地図や写真等を使用し、整備が進む過程を写真で紹介するとともに、お知らせごとにアイコンを設けるなどの工夫を行い、復興の状況や復興関連情報を分かりやすく掲載することに努めた。</p> <p>また、ハード面の整備事業のほか、コミュニティづくりや復興事業の完成を記念して開催される地域イベント等、ソフト面の取り組みについても紹介するなど、多角的な情報発信に努めた。</p> <p>〔市報復興号発行〕 毎月15日発行、発行部数月65,000部、8ページ、フルカラー 〔市報復興特集号作成・発行〕 平成29年4月1日発行、発行部数月65,000部、8ページ、フルカラー</p> <p>主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくりに関する情報 ・復興や復旧の様子 ・復興に関するイベント ・住宅再建支援制度 ・生活再建支援制度 ・災害危険区域内の市有地の貸付等 ・復興公営住宅の事前登録 ・復興公営住宅入居者募集及び入居手続等 ・防災集団移転に関するお知らせ ・防災集団移転地未登録宅地への移転希望者募集 ・災害復旧費寄附金の状況 ・災害義援金配分 ・被災者の各種相談案内 ・産業用地に関するお知らせ ・復興特区による税制優遇制度 ・中小企業復旧支援制度 ・復興関連説明会 					
成 果		市民に分かりやすい内容に努め、多くの震災復興関連の情報を迅速かつ的確に発信することができた。 また、復興特集号を発行し、半島沿岸部の拠点整備等、現在進めている復興まちづくり事業の状況等や、今後、市が目指していく将来のまちの姿などを市民に周知することができた。					
成果に係る評価		施設等の整備状況や今後の復興まちづくりに関するハード事業の情報だけでなく、新たなコミュニティづくりの取組や復興を支援するNPO団体の紹介、復興に関する観光・イベント開催等のソフト事業の周知も図り、今後も復興関連の情報発信に努めていく必要がある。 なお、今後は復興関連情報の減少に伴う市報復興号の発行のあり方と紙面づくりについて検討する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	15,870,600	15,870,600			15,870,600		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P164	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		002-101-003-00535	事 業 名		全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し、石巻市外への避難を余儀なくされている市民に行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。					
取組実績		<p>全国避難者情報システムに登録している市民や、被災したことにより石巻市外のみなし仮設に入居している市民等へ、市報1日号と15日号の発行に合わせて月2回郵送した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回平均・・・1,580通 ・郵送物・・・市報、県政だより、議会だより、社協だより、選挙チラシ ・郵送方法・・・ゆうメール 					
成 果		市外で生活している被災者に対し、石巻市の現状や復興の進捗状況を知らせることができた。					
成果に係る評価		市の広報紙を通して情報を発信することは、市外で生活している市民にとって安心に繋がる取組であるため、今後も行政情報や復興まちづくりの様子等を伝えていく必要がある。 また、市外で生活している方々が、再び石巻市に戻った際に安定した生活が送れるよう、住まいの再建の目的が立つまでは市報等の郵送を行う必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,840,000	2,815,860			2,815,860		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																			
	1 項	総務管理費		第 節			()																																			
	28 目	東日本大震災関係費		()			()																																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	復興まちづくり情報交流館整備事業費																																						
事業コード			事 業 名	復興まちづくり情報交流館整備事業〔復興交付金〕																																						
目的及び事業内容		復興のまちづくりや地域の取組に関する情報、東日本大震災の記録と記憶の発信（展示）と、市民同士や来訪者との交流の場や憩いの場とするため、復興まちづくり情報交流館中央館、北上館、牡鹿館及び河北展示の整備に続き、雄勝館を整備する。																																								
取組実績		<p>1 石巻市復興まちづくり情報交流館の整備 【雄勝館】 所在地 石巻市雄勝町上雄勝二丁目36番地 建築面積 103.17㎡ 開館年月日 平成28年6月4日</p> <p>施設の整備にあたっては、トレーラーハウスを利用し、「情報展示棟」「交流棟」「管理棟」を設け、雄勝地区の震災による被害状況や復興情報等について、映像やパネル等を用いて紹介した。</p> <p>2 北上館、牡鹿館及び河北展示に係る展示物を制作し、展示した。</p>																																								
成 果		<p>復興まちづくり情報交流館中央館、北上館、牡鹿館及び河北展示に続き、雄勝館を整備し、市民及び来訪者に復興事業の進捗状況や震災の記録、震災から得た知識や教訓等を発信するとともに、地域住民や来訪者との交流の場を確保することができた。</p> <p>【参考】各館来館者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">復興まちづくり情報交流館</th> <th rowspan="2">開館年月日</th> <th colspan="4">来館者数（人）</th> </tr> <tr> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央館</td> <td>H27.3.7</td> <td>1,485</td> <td>20,238</td> <td>15,395</td> <td>37,118</td> </tr> <tr> <td>北上館</td> <td>H28.3.8</td> <td></td> <td>534</td> <td>4,398</td> <td>4,932</td> </tr> <tr> <td>牡鹿館</td> <td>H28.3.8</td> <td></td> <td>511</td> <td>5,927</td> <td>6,438</td> </tr> <tr> <td>雄勝館</td> <td>H28.6.4</td> <td></td> <td></td> <td>4,435</td> <td>4,435</td> </tr> </tbody> </table>							復興まちづくり情報交流館	開館年月日	来館者数（人）				H26年度	H27年度	H28年度	累計	中央館	H27.3.7	1,485	20,238	15,395	37,118	北上館	H28.3.8		534	4,398	4,932	牡鹿館	H28.3.8		511	5,927	6,438	雄勝館	H28.6.4			4,435	4,435
復興まちづくり情報交流館	開館年月日	来館者数（人）																																								
		H26年度	H27年度	H28年度	累計																																					
中央館	H27.3.7	1,485	20,238	15,395	37,118																																					
北上館	H28.3.8		534	4,398	4,932																																					
牡鹿館	H28.3.8		511	5,927	6,438																																					
雄勝館	H28.6.4			4,435	4,435																																					
成果に係る評価		雄勝館の整備により、復興まちづくり情報交流館の整備が全て完了した。 今後も、東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗や、まちづくりの取組に関する情報等について発信するとともに、人々が気軽に集まれる施設運営に取り組み、市民や来訪者との交流の場を提供していく必要がある。																																								
（単位：円）																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	53,553,280	53,553,280			42,841,000	10,712,280																																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節			(2)	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費		()			(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P135	中 事 業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費				
事業コード		001-201-001-00303	事 業 名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕				
目的及び事業内容		東日本大震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を開催するもの。						
取組実績		<p>東日本大震災石巻市追悼式の実施</p> <p>1 日時 平成29年3月11日（土）午後2時40分～午後5時</p> <p>2 場所 河北総合センター</p> <p>3 概要</p> <p>(1) 式場に祭壇及び献花台を設置した。</p> <p>(2) 震災で犠牲となられた方々の御遺族(2,490人)に案内状を送付した。</p> <p>(3) 本庁と各総合支所（河北総合支所を除く）に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。</p> <p>(4) 石巻合唱連盟・宮城県石巻好文館高等学校音楽部・市民有志による追悼合唱を行った。</p> <p>(5) 国主催の追悼式の中継を、追悼式会場及び各献花場で放映した。</p> <p>(6) 河北総合センターでの追悼式の模様を各献花場に映像配信した。</p> <p>(7) 石巻駅前、各総合支所等から送迎バスを運行した。</p>						
成 果		<p>市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、復興への決意を示すことができた。</p> <p>参列者</p> <p>追悼式 河北総合センター 710人（献花のみ110人）</p> <p>献花場 市役所4階庁議室 775人</p> <p>雄勝総合支所仮庁舎 102人</p> <p>遊楽館 206人</p> <p>桃生総合支所 92人</p> <p>北上保健医療センター 116人</p> <p>牡鹿保健福祉センター 179人</p> <p>計 2,180人</p> <p>送迎バス利用者 行き 55人 帰り 56人</p>						
成果に係る評価		東日本大震災の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、継続して本事業を実施していくこととしたい。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	17,110,000	17,037,053				17,037,053		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																									
	1 項	総務管理費				(3)	減災まちづくりの推進																									
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	都市基盤の復旧・復興																									
実施計画掲載ページ		P137	中 事 業		庁舎駐車場整備事業費																											
事業コード		001-301-001-01039	事 業 名		庁舎第2駐車場整備事業〔復興基金〕																											
目的及び事業内容		病院建設に伴い不足する公用車と石巻市立病院の利用者との駐車場の確保を図る。																														
取組実績		<p>駐車場整備工事（設計及び建設工事）、監理業務を実施した。また、施工中の市立病院との設計上の調整を図るため駐車場整備工事設計監修業務を実施した。 工事期間：H27.6.25～H28.6.30</p> <p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>整備工事</th> <th>監理業務</th> <th>設計監修業務</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 27 年 度</td> <td>206,570,000</td> <td></td> <td></td> <td>206,570,000</td> </tr> <tr> <td>平成28年度（通時繰越分）</td> <td>268,430,000</td> <td></td> <td>3,079,080</td> <td>271,509,080</td> </tr> <tr> <td>平成28年度（現年度分）</td> <td>270,223,760</td> <td>3,996,000</td> <td></td> <td>274,219,760</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>745,223,760</td> <td>3,996,000</td> <td>3,079,080</td> <td>752,298,840</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	整備工事	監理業務	設計監修業務	合 計	平成 27 年 度	206,570,000			206,570,000	平成28年度（通時繰越分）	268,430,000		3,079,080	271,509,080	平成28年度（現年度分）	270,223,760	3,996,000		274,219,760	合 計	745,223,760	3,996,000	3,079,080	752,298,840
年 度	整備工事	監理業務	設計監修業務	合 計																												
平成 27 年 度	206,570,000			206,570,000																												
平成28年度（通時繰越分）	268,430,000		3,079,080	271,509,080																												
平成28年度（現年度分）	270,223,760	3,996,000		274,219,760																												
合 計	745,223,760	3,996,000	3,079,080	752,298,840																												
成 果		鉄骨造5層6段、施工床面積6,184.17㎡、駐車台数231台の自走式立体駐車場が完成し、駐車場の確保が図られた。 1～3階：市立病院駐車場として使用（113台） 4階～屋上階（6階）：公用車駐車場として使用（118台）																														
成果に係る評価		不足する公用車駐車場の確保が図られた。 また、1階から3階部分を市立病院駐車場として使用させることで、市立病院1階の駐車場のみでは不足すると想定されていた病院利用者用の駐車場が確保された。																														
予算の執行状況		（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																										
	549,130,000	545,728,840		406,900,000	138,828,840																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る
	28 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P136	中 事 業		上釜会館移転建設事業費		
事業コード		001-201-003-01059	事 業 名		上釜会館移転建設事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		<p>現会館は防衛施設周辺施設の住民の福祉の向上を図るために設置された施設であるが、都市計画道路門脇流留線の事業用地となっていることから、移転新築を行う。 平成28年度に用地取得及び設計を、平成29年度に移転新築工事を実施する。</p>					
取組実績		<p>上釜会館移転新築事業</p> <ol style="list-style-type: none"> （仮称）上釜会館新築工事設計業務 <ol style="list-style-type: none"> 委託期間 平成28年6月21日から平成29年1月31日まで 委託内容 新会館の設計、現会館の解体設計 上釜会館移転建設事業不動産鑑定業務 <ol style="list-style-type: none"> 委託期間 平成28年5月26日から平成28年6月30日まで 業務内容 鑑定評価額案作成 門脇字浦屋敷地内上釜会館候補地用地測量業務 <ol style="list-style-type: none"> 委託期間 平成28年5月18日から平成28年8月31日まで 業務内容 土地境界確定業務 （仮称）上釜会館新築予定地質調査業務 <ol style="list-style-type: none"> 委託期間 平成28年6月21日から平成28年9月30日まで 調査内容 地質調査 用地取得 <ol style="list-style-type: none"> 売買契約締結日 平成28年12月28日 内容 用地購入取得 					
成 果		移転用地の取得が完了し、上釜移転新築工事設計業務により移転新築工事の設計業務を完了した。					
成果に係る評価		代替施設設計業務及び不動産鑑定、用地測量、地質調査、用地取得が完了し、平成29年度内の工事完了に向け事業の進捗が図られた。					
予算の執行状況		（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	26,277,000	24,751,571			7,923,000	16,828,571	